加賀電子

JPX-NIKKEI Mid Small
2021 - 2022

個人投資家向け会社説明資料

加賀電子株式会社<プライム市場 8154>

上席執行役員 管理本部長
石原 康広

2023年5月26日

KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

目次

- 会社プロフィール　P- 3 ~ 10
- 中期経営計画 2024　P-12 ~ 15
- 電子部品事業について　P-17 ~ 19
- EMS事業について　P-21 ~ 32
- サステナビリティ中長期経営計画　P-34 ~ 38
- 2023年3月期 決算概要　P-40 ~ 59
- 2023年3月期 業績予想、配当予想　P-61 ~ 63
- 最後に　P-65 ~ 66

会社プロフィール

独立系、ワンストップサービスのエレクトロニクス総合商社

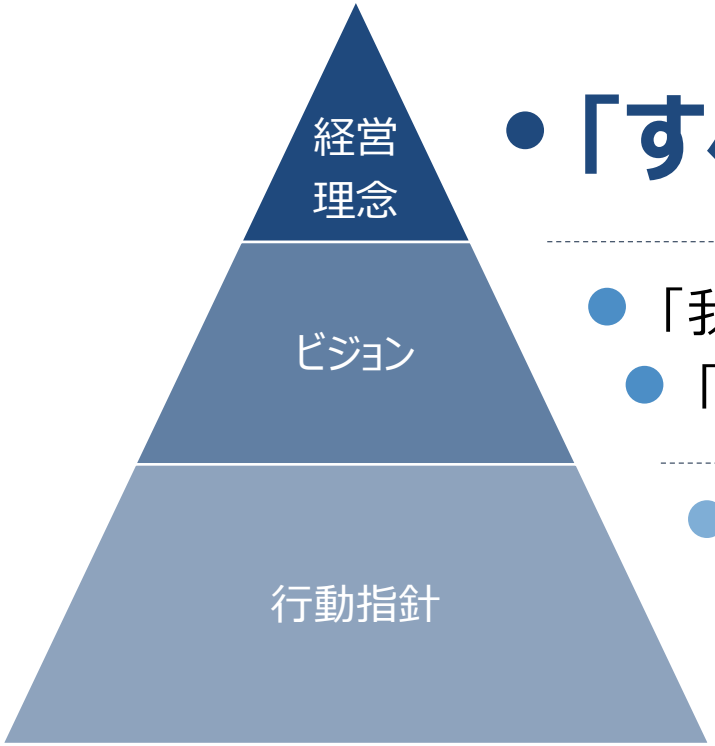
会社名	加賀電子株式会社
代表者	代表取締役会長 会長執行役員　塚本 勲
	代表取締役社長 社長執行役員　門 良一
本社所在地	東京都千代田区神田松永町20番地
設立	1968年（昭和43年）9月12日
資本金	121億33百万円
上場市場	東証　プライム市場（証券コード：8154）
グループ会社数	63社（2023年4月1日現在）
連結従業員数	8,092名（2023年3月31日現在）

創業者・
代表取締役会長
塚本 勲

代表取締役社長
門　良一

加賀電子のフィロソフィー

「すべてはお客様のために」 ―加賀電子は創業以来、お客様の声をとことん聞き、お客様のご要望にひたすら応えていくことで、電子部品や半導体のキッティングから加工・製造へと展開したEMSビジネス、そして完成品の販売を行う情報機器ビジネスへと事業領域を拡大してきました。これからも、「我が国業界No.1の企業」そして「グローバル競争に勝ち残る企業」を目指し、果敢に挑戦し続けてまいります。



- 「すべてはお客様のために」

- 「我が国業界No.1企業を目指す」
- 「グローバル競争に勝ち残る企業を目指す」

- 「F.Y.T.」: 変化に柔軟に、常に若々しく、果敢に挑戦
- 「3G」: あらゆるものを、グローバルに、総合力を活かして
- 「加賀イズム」: 経営マインド、営業マインド、社会人としての心構え

加賀イズム

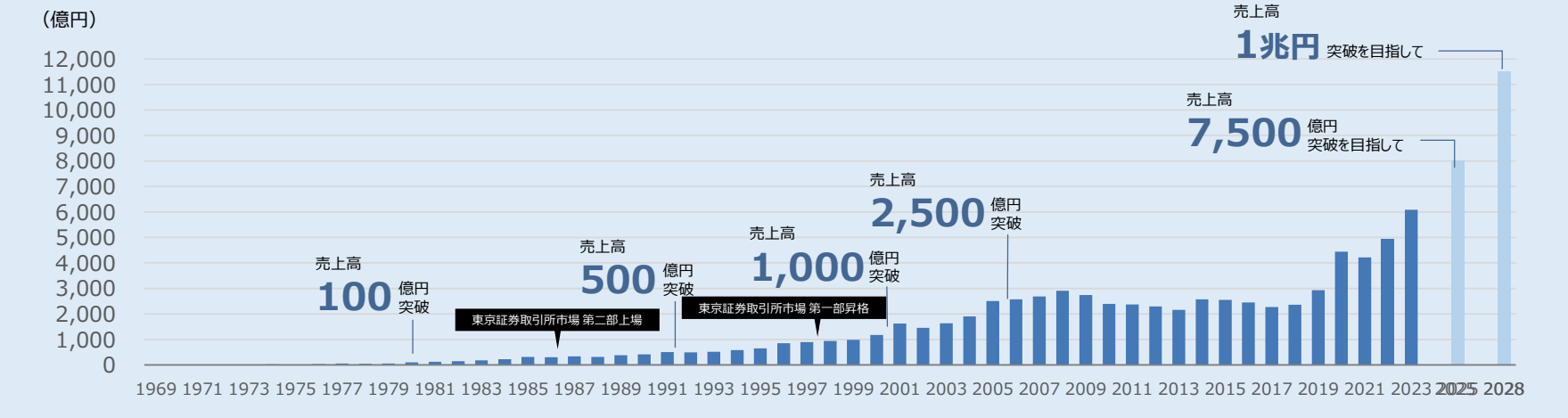
会社設立以来、創業者や諸先輩の経験に裏打ちされた宝とも言うべき数多くの『語録』。
日々の競争を勝ち抜いていくための我々の行動の『拠り所』として、将来にわたって継承されるDNA。

加賀イズムの３本柱	基本精神
1．経営マインド 「全員が経営者」であるという意識をもった行動	1-1. 壮大な夢と強い想いをもった経営者たれ
	1-2. ハングリー精神をもってチャレンジし続ける
	1-3. 強い想いをもって、まずは行動
2．営業マインド 「商社マン・ビジネスマン」としてもつべき意識と行動	2-1. TAXAN努力し、TAXAN儲けてTAXAN幸せになる
	2-2. 人脈は無形の財産
	2-3. 常に、旺盛な好奇心を持ち続ける
3．社会人としての心構え 社会人として仕事を進める上での意識と行動	3-1. 自己研鑽
	3-2. 信賞必罰
	3-3. 公明正大

沿革

新技術。新製品。つねに時代の声に耳を傾ける。
エレクトロニクス業界とともに、私たちは成長してきました。

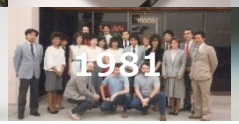
成長を続ける加賀電子の推進力は、時代の変化をいち早く察知する鋭敏な能力です。
その力は、技術革新が加速する時代にあって、エレクトロニクスの分野で着実な成長を遂げてきました。また、近年では新規事業への取り組みも積極的に展開しています。長年にわたって培ってきた情報収集力と販売網をベースに、既存の事業にとらわれない自由な発想により、無限の可能性に向かって進化を続けています。



資本金100 万円で東京都千代田区外神田に設立

CB トランシーバーブーム到来

インベーダーゲームブーム到来

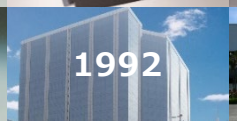


TAXAN USA を アメリカに設立

アップル用自社ブランドモニター「KG- 12 」を発売

自社ブランドカラーモニター「TAXAN RGB VISION 」を発売

家庭用ゲーム事業を開始



KAGA（H.K. ）を香港に設立

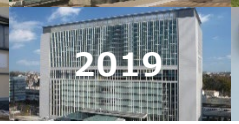
自社工場 港加賀電子を中国（ 深圳）に設立

KAGA COMPONENTS（MALAYSIA ）をマレーシアに設立

KAGA（THAILAND ）をタイ（ バンナ）に設立

KD TEC をチェコに設立

TAXAN MEXICO をメキシコに設立



加賀FEI(旧・富士通エレクトロニクス）を子会社化

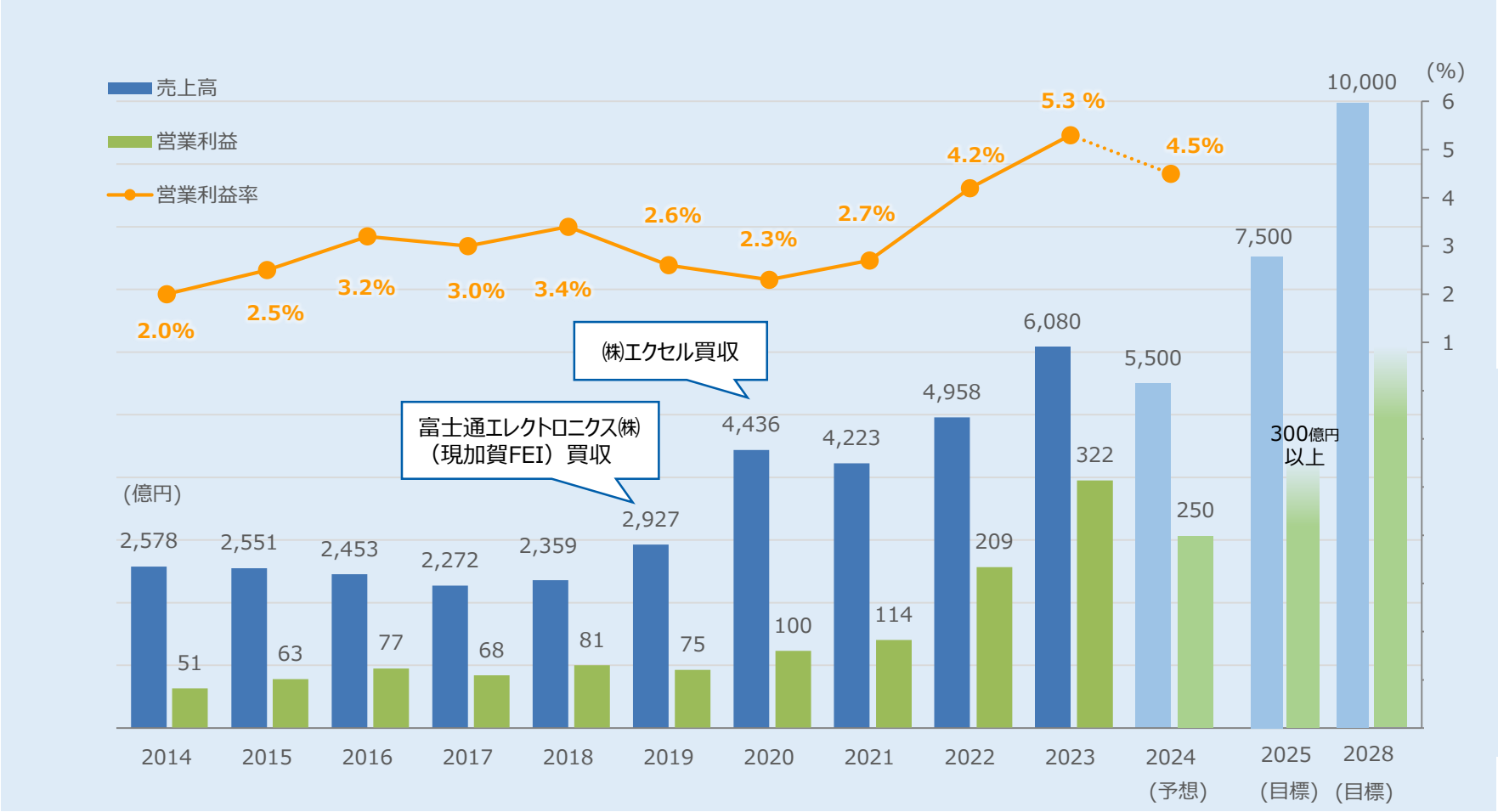
加賀マイクロソリューション福島工場竣工

売上高１兆円突破を目指して

加賀電子

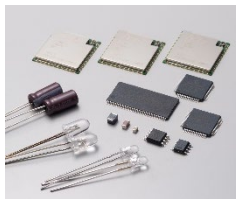
直近10年の業績推移

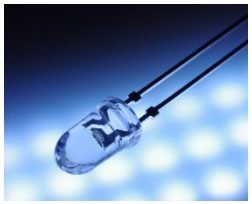
2014年以降、「利益重視の経営」をグループに徹底し、営業利益および営業利益率を改善。
2019年からはM&Aを積極展開し、成長路線へシフト。持続的な収益拡大を目指す。



加賀電子グループの強み-①：総合力（事業領域）

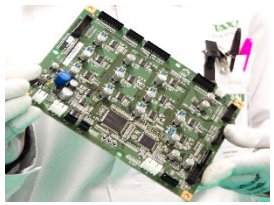
電子部品・半導体ビジネス





国内外のお客様へ、一般電子部品・
半導体等の販売代理店活動

EMSビジネス



完成品から半完成品まで設計開発製造
のトータルサポートを実施

情報機器ビジネス

PCや周辺機器を国内外の流通チャネルに供給、
及びネットワークソリューション分野への対応

ニュービジネス

アミューズメントに関する製品・ソフト開発及び
製造販売およびゴルフ用品販売事業ほか

加賀電子グループの強み-②：グローバル

10ヶ国/21拠点に展開するEMSグローバル生産体制で、顧客ニーズに迅速且つ柔軟に対応します。

中国

- 製造：深圳、上海、蘇州、湖北
- 営業：香港、上海、大連

欧州

- 製造：チェコ、トルコ
- 営業：ドイツ

日本

- 製造：十和田、山形、福島、新潟、東京、鳥取
- 営業：東京、名古屋、大阪、など

米州

- 製造：メキシコ
- 営業：サンノゼ、シカゴ、ボストン

アジア・アセアン

- 製造：タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド
- 営業：韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、インド

加賀電子グループの強み-③：ワンストップ

製造受託に留まらず、**企画・開発から販売・販売後サポートまでワンストップ**で対応できるグループ総合力

企画・開発・設計 → 部品調達・キッティング → EMS・製造受託 → 販売・ディストリビューション → サポート・アフターサービス

加賀電子

- 加賀デバイス
- 加賀マイクロソリューション
- 加賀ソルネット
  - 加賀アミューズメント
    - デジタル・メディア・ラボ
  - エー・ディーデバイス
  - 加賀テック
  - エクセル
  - 加賀EMS十和田 / 旭東電気
- 加賀テクノサービス
- 加賀アミューズメント
  - 加賀スポーツ
  - エクセル
  - 加賀エアロシステム

加賀FEI

- KAGA FEI AMERICA
- KAGA（台湾）
- KAGA FEI（大連）
- TAXAN MEXICO
- KAGA COMP(MALAYSIA)
- 加賀電子（上海）/ KAGA (H.K.)
- KAGA (THAILAND)/KAGA(VIETNAM)
- KAGA (SINGAPORE)
- KAGA（INDIA）
- KD TEC（チェコ）、KD TEC Turkey（トルコ）

中期経営計画2024（2022 - 2024）

（2021年11月25日公表資料より抜粋）

『中期経営計画2024』サマリー

自律的成長

＋

新規M&A等
による成長

1兆円

"グローバル競争に勝ち残る企業"を目指す

7,500億円

"我が国業界No.1企業"を目指す

売上
UP

商社ビジネスの拡大を

EMSビジネスの成長につなげる

利益率
UP

商社ビジネスの
規模拡大

EMSビジネスによる
高付加価値化

成長分野

モビリティ
通信
環境
産業機器
医療
ヘルスケア

海外ビジネス・EMSビジネスの強化・拡大

（売上高）

『中期経営計画 2024』

更なる収益力の強化

経営基盤の強化

新規事業の創出

SDGs経営の推進

『チャレンジ 1.60』

創業60周年には
売上高1兆円

加賀電子

『中期経営計画2024』経営目標

当初計画 (2021年11月25日公表)		最新見通し (2023年5月11日公表)
2022年度~2024年度	計画年度	変更なし
7,500億円 6,000億円: 自律成長 1,500億円: 新規M&A	売上高	変更なし
200億円	営業利益	**300億円以上**
安定的に8.5%以上	ROE	**安定的に10%以上**

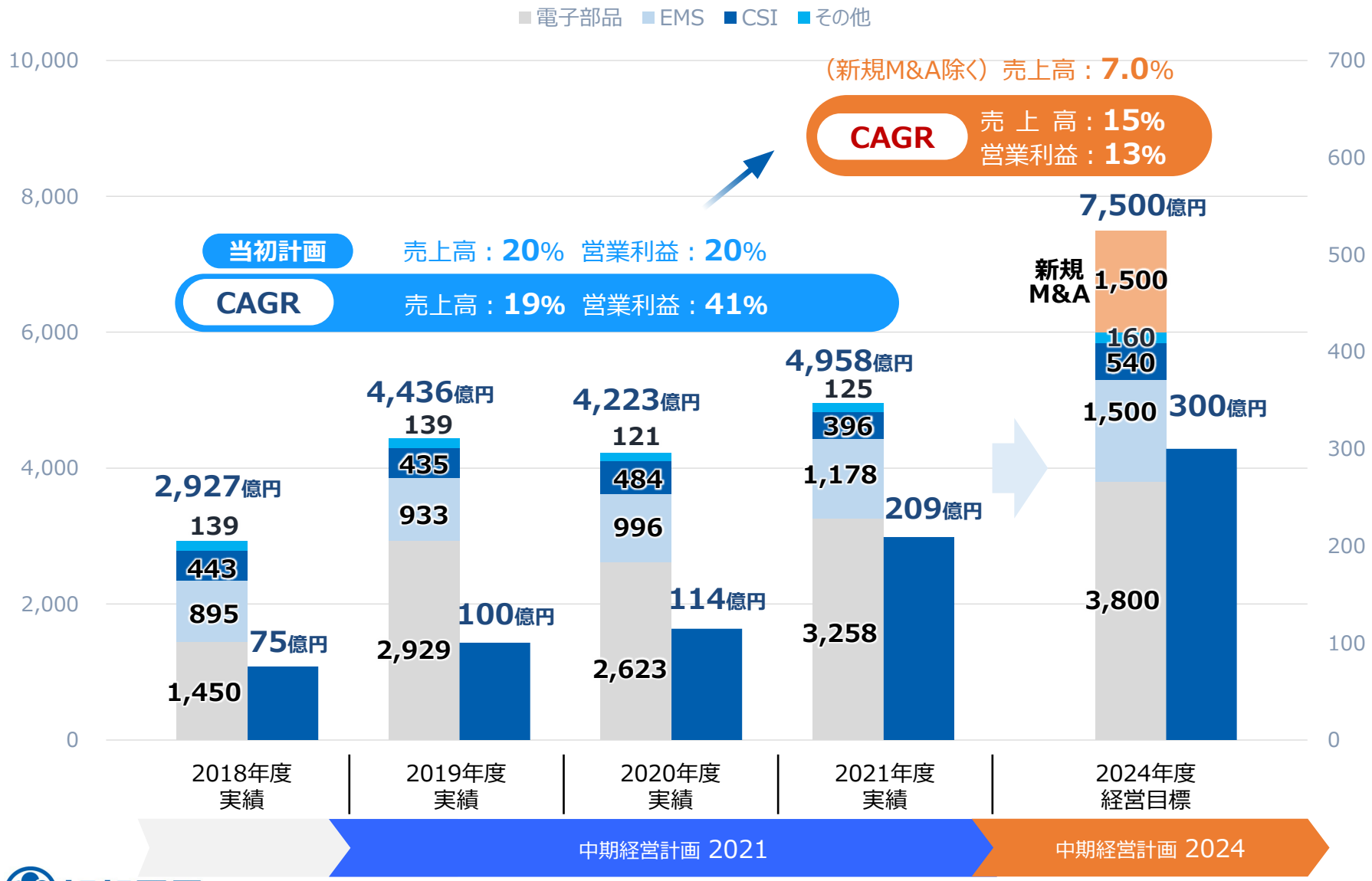
『中期経営計画 2024』基本方針

基本方針と重要課題/アクション

更なる収益力の強化	時代を先読みし、**高い成長性や収益性が見込める市場に注力**	• 成長分野への選択と集中 「モビリティ」「通信」「環境」「産業機器」「医療・ヘルスケア」 • EMSビジネス、海外ビジネスの強化・拡大
経営基盤の強化	更なる効率性、健全性を追求し、**“我が国業界No.1企業”に相応しいグループ経営基盤へ変革**	• コーポレートガバナンスの強化 • 効率的なグループ経営 • 人的資本への投資
新規事業の創出	ベンチャー投資やM＆Aを積極的に活用して新たなビジネスを創出し、**外的環境変化への耐性を強化**	• 新規分野への取り組み • ベンチャー投資によるオープンイノベーション推進 • 非連続な成長を狙うM＆Aの挑戦
SDGs経営の推進	**「社会課題の解決」と「企業としての持続的成長」の両立**を目指した経営を推進	（詳細は、『サスティナビリティ中計』へ）

『中期経営計画2024』事業ポートフォリオ

CSI・・・コンシューマー＆システムインテグレーター



加賀電子

加賀電子グループの
電子部品事業について

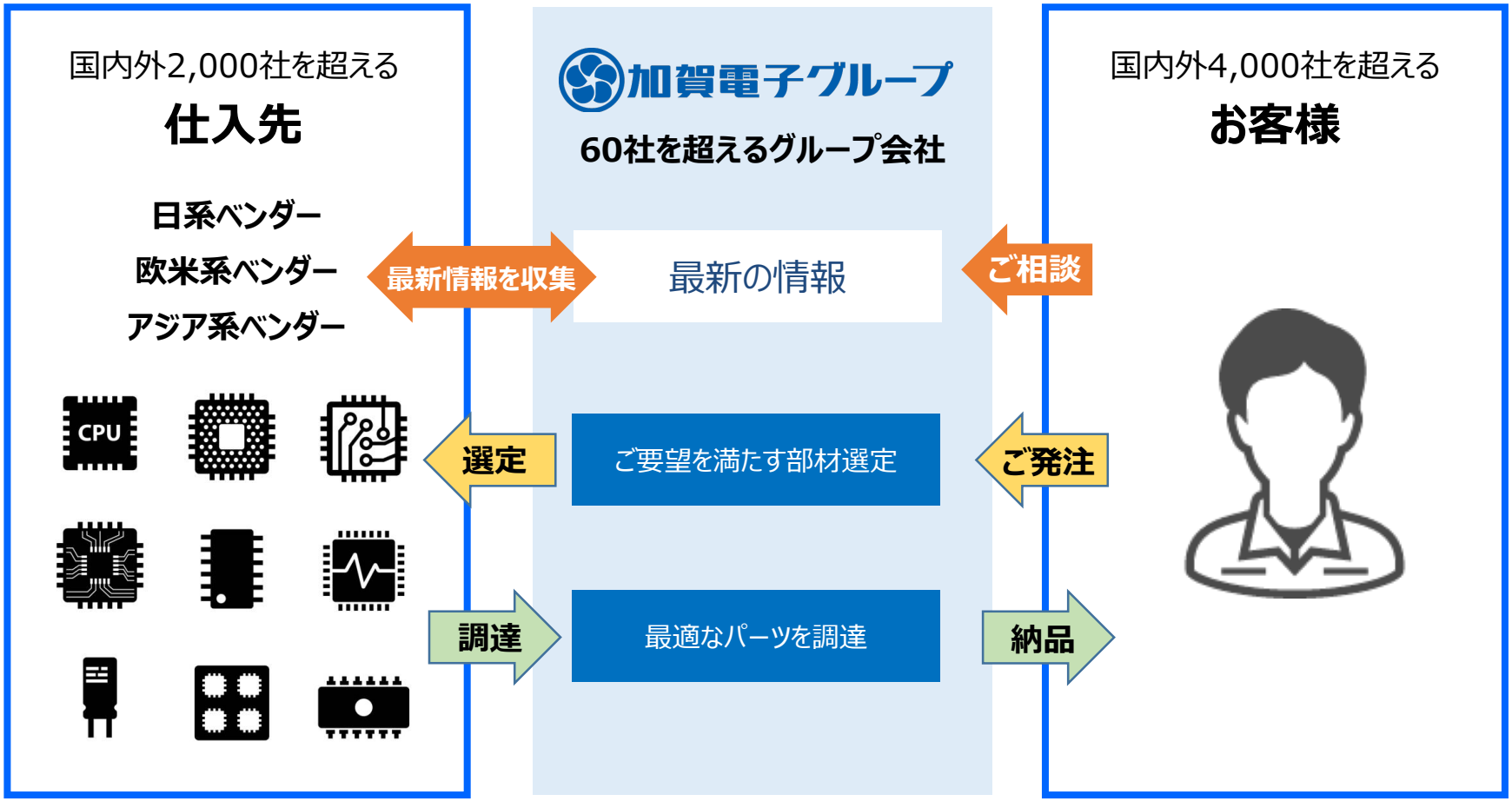
加賀電子の電子部品事業の強み

どのメーカーにも属さない「独立性」、世界中に展開する「グローバル性」、技術者チームの「専門性」が強みです。

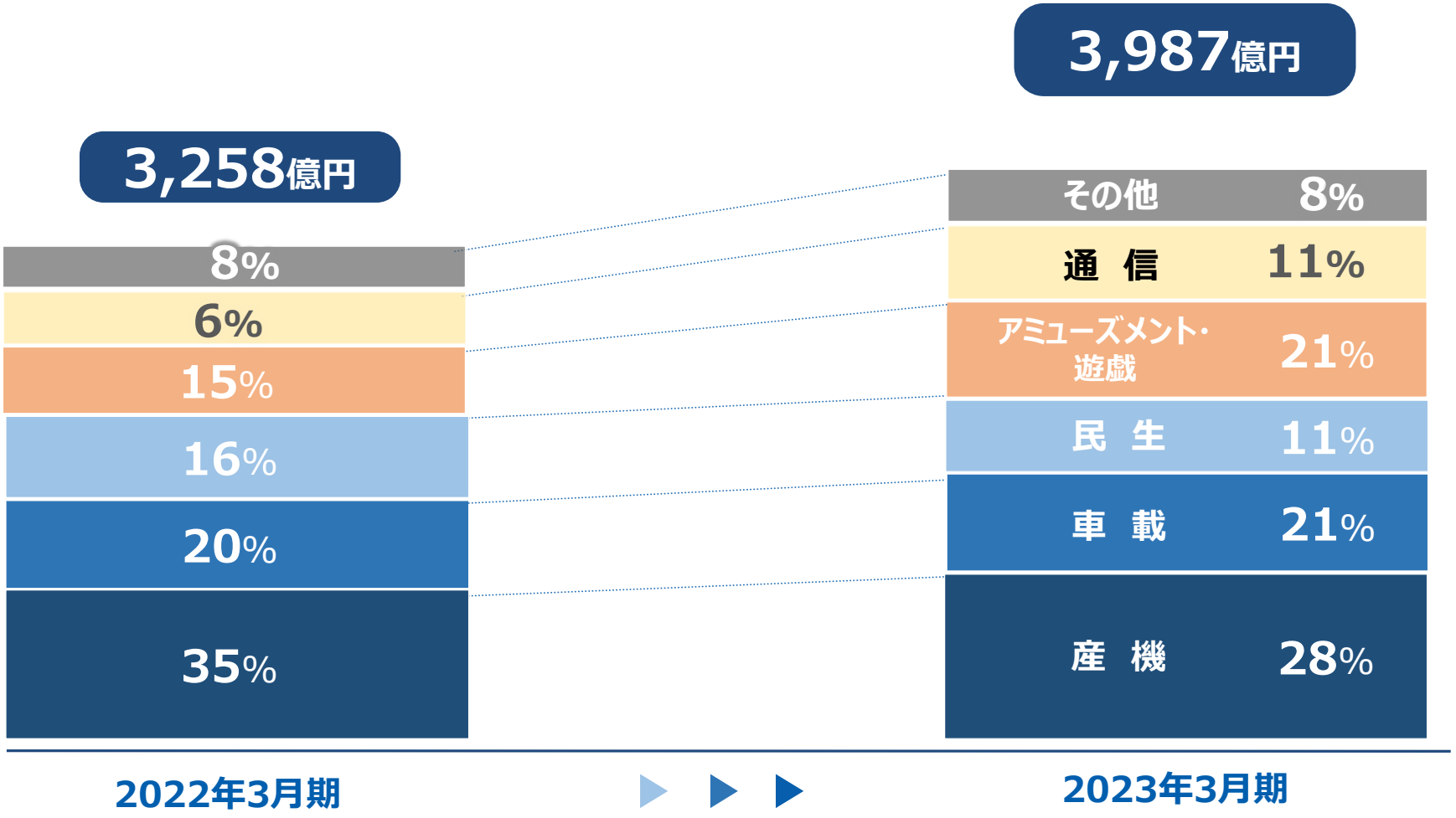
独立系のアドバンテージ	独立系商社だからできる調達力、50年培った信頼とノウハウ。	• 加賀電子の仕入先は国内外2,000社、お客様は4,000社を超え、直接取引しています。 • 取り扱い商材に制限がない独立系商社の強みを活かし、世界中の仕入先とお客様を結びつけ、最良の品を最適な形で提供します。
グローバルネットワーク力	時代を先読みする情報収集力、多彩な領域のグループ力を駆使。	• 北米、欧州、アジアなど、世界各地に60社を超えるグループ会社のネットワークを活かし、最新の知見、情報もいち早く収集し、お届けします。 • 現地法人によるサポート体制も万全。ご希望の地域でご要望にお応えします。
テクニカルサポート体制	経験豊富な技術者チームに任せる。信頼から生まれる万全の体制。	• 最新技術に精通したFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）が、実績に裏打ちされた信頼とともに最適な製品をご提供します。 • 情報の少ない最先端のベンチャー商品も徹底した技術サポートで安心してご利用いただけます。

電子部品事業のビジネスフロー

グループネットワークを活用した最先端の情報網・部材調達体制で、お客様に最適な解決策をお届けします。



電子部品事業の産業別ポートフォリオ



EMS事業について

加賀電子のEMS事業の強み

加賀電子はお客様にとって便利で価値ある「コンビニ型EMS」をグローバルに展開しています。

日系EMS vs 台湾・アジア系EMS

基板実装がメイン

高信頼性重視

日系EMSが強い領域

シークス、
UMC、
加賀電子、など

数量が多い

数量が少ない

台湾・アジア系メガEMSが強い領域

Foxconn、
Pegatron、
Flextronics、など

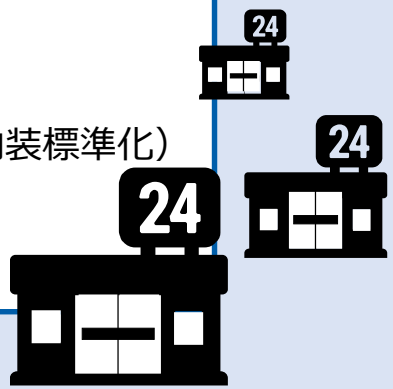
コスト競争力重視

完成品組立がメイン

コンビニ型EMS vs GMS型EMS

＜加賀電子＞

- 小額な初期投資
  （土地・建物レンタル、内装標準化）
- 多品種少ロット対応
- 地産地消型モデル



VS

＜日系EMS大手競合＞

- 大規模投資
- 大量生産型
- 輸出型モデル

主要生産拠点のご紹介：中国

港加賀電子（深圳）有限公司

設　　立	1999年
従業員数	998名
生産品目	車載関連製品、産業機器、事務機器、アミューズメント機器、通信機器

＜深圳工場＞

加賀沢山電子（蘇州）有限公司

設　　立	2009年
従業員数	399名
生産品目	車載関連製品、医療機器、産業機器、住設関連製品、電子楽器、通信機器

＜蘇州第1工場（輸出用）＞

主要生産拠点のご紹介：アセアン

KAGA ELECTRONICS (THAILAND)

設　　立	2002年
従業員数	979名
生産品目	車載関連製品、事務機器、空調機器、産業機器

<タイ第1工場>

KAGA ELECTRONICS (VIETNAM)

設　　立	2017年
従業員数	200名
生産品目	車載関連製品、空調機器、事務機器、医療機器

<ベトナム工場>

主要生産拠点のご紹介：欧州･米州

KD TEC

設　　立	2009年
従業員数	105名
生産品目	空調機器

＜チェコ工場＞

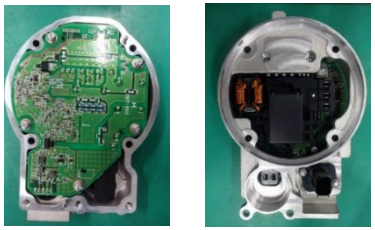
TAXAN MEXICO

設　　立	2017年
従業員数	478名
生産品目	車載関連製品、事務機器、産業機器

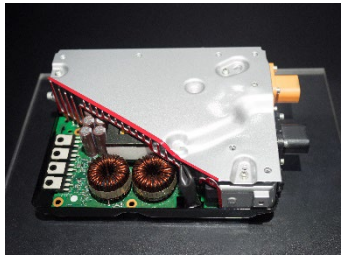
＜メキシコ工場＞

主な生産品目：車載関連機器

電動コンプレッサーユニット



ACインバータユニット



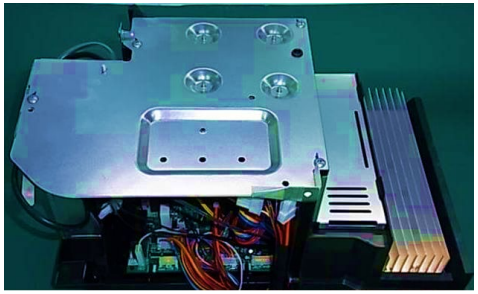
車載用照明ユニット

車載用補助電池パック

カーナビゲーション

主な生産品目：空調機器・産業機器

空調機器関連ユニット



電動工具関連製品

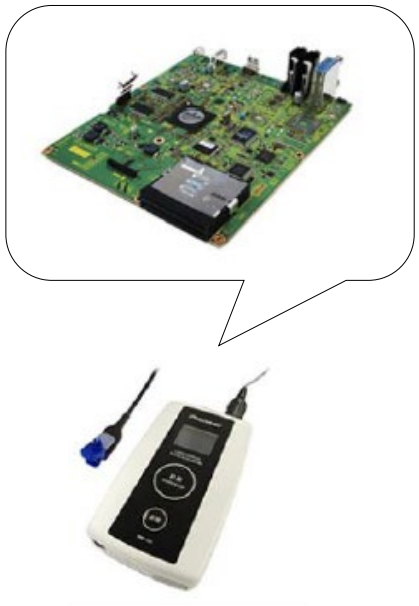
主な生産品目：医療機器･医用検査機器

医療関連機器

＜薬保管キャビネット＞

医用検査機器

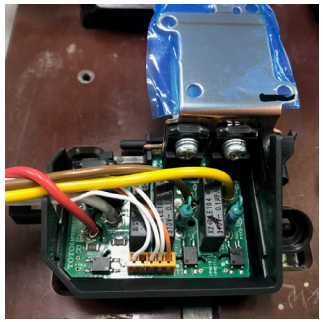
＜試薬検査機器＞



＜血流検査機器＞

主な生産品目：民生用電気機器･事務機器

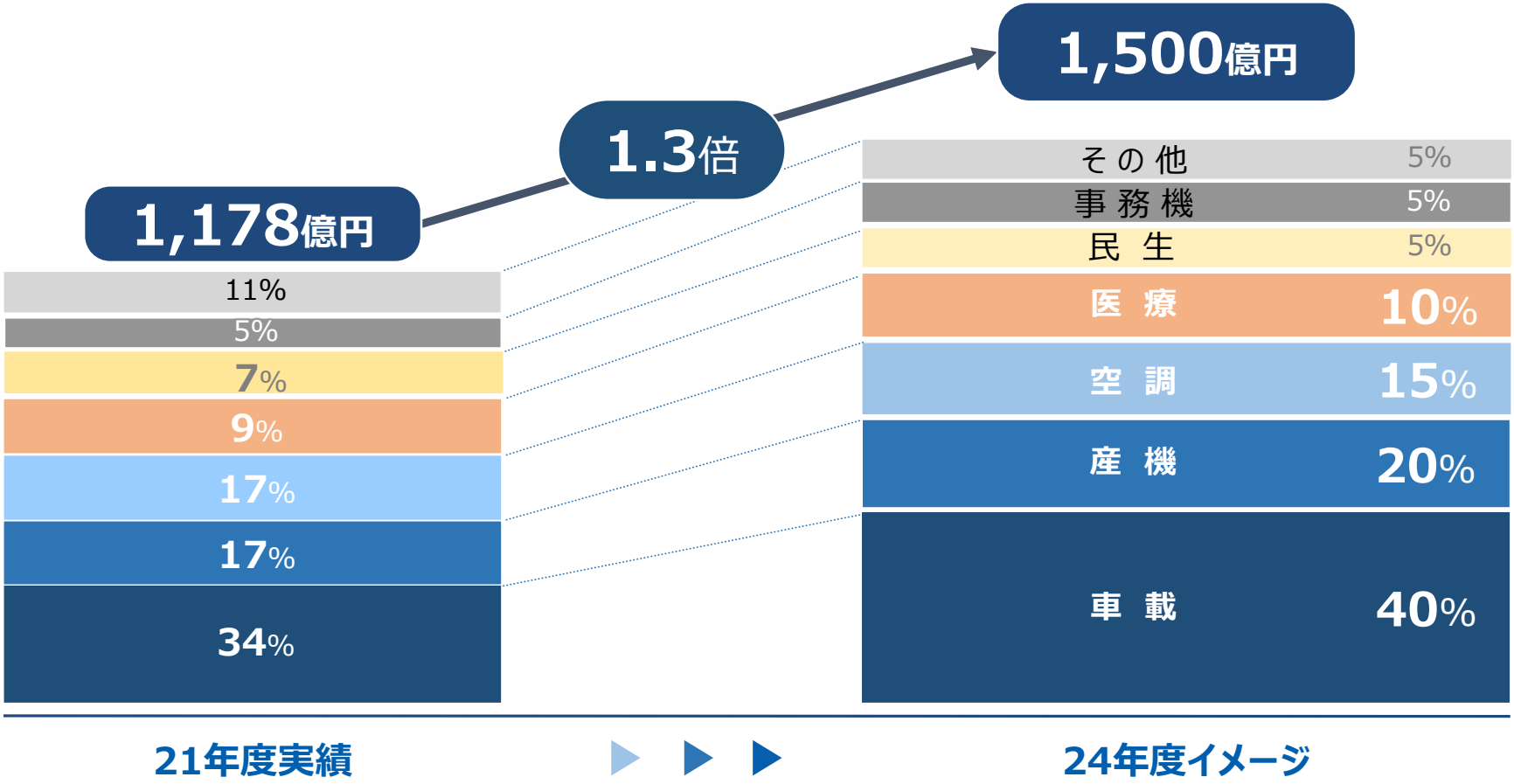
洗浄便座



事務機器

EMS事業の産業別ポートフォリオ

「顧客基盤の強化拡大」「高付加価値領域へのバリューチェーンシフト」「事業基盤の強化」を重点戦略に、2021年度比1.3倍の事業規模へと飛躍的な成長を目指す



EMS事業の競争力強化策-①：生産能力の増強

米中貿易問題長期化に伴う“中国からの生産移管”の動き、為替変動や人件費高騰を回避する製造業の“国内生産回帰”の動きのほか、お客様からの増産要望に柔軟且つ機動的に対応します。

福島新工場

事業内容

通信機器、PCおよびPC周辺機器の製造、修理、リユース・リサイクル

稼働時期

2019年10月

タイ第2工場

事業内容

複合機、プリンタ、車載関連製品の基板実装

稼働時期

2019年12月

マレーシア工場（工場移転）

事業内容

各種電源製品の製造ならびに衛生機器・産業機器・民生機器向け製品の基板実装

稼働時期

2022年10月

トルコ工場（工場移転）

事業内容

空調機器向け電装ユニットの組み立ておよび電動工具、車載機器向け製品の基板実装

稼働時期

2023年６月

EMS事業の競争力強化策-②：ものづくり力の強化

十和田パイオニア㈱（現加賀EMS十和田）買収により、エレクトロニクス専業メーカーとして長年培ってきた同社の「ものづくり」のノウハウ、優秀な生産系人財と生産設備、治具設計、品質保証体系など有形無形の資産を共有することで、EMS事業の品質レベルの一層の向上、競合他社との競争優位性を強化します。そして、同社をEMS事業の“マザー工場”と位置付け、海外拠点との連携、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を図ります。

加賀EMS十和田

工場概要

本　社　　：青森県十和田市元町東一丁目15-1
従業員数：　195名

【第1工場】		【第2工場】	
敷地面積	22,363m2	敷地面積	7,201m2
建屋面積	10,719m2	建屋面積	2,545m2

主な生産品目

電子基板の実装、電子機器の組立・検査
- ◆車載関連
- ◆医療機器関連
- ◆民生・産業機器関連、食品加工機器関連、他

買収時期

2019年10月

EMS事業の競争力強化策-③：製造設備の自社開発

中国の大手設備メーカーと合弁で、製造設備の開発/設計/製造を行うことで、圧倒的なコスト競争力に加えて、高品質で高信頼性な基板実装のトータルソリューションをお客様にご提供します。

HATTEN設備ご紹介

HATTEN

① 局部半田槽

■ 製品群

①1ヘッド機 ISF-300
②2ヘッド機 ISF-450-II
③4ヘッド機 ISF-450D
④4ヘッド機 ISF450-4H
局部半田槽高速版
⑤局部フラックス塗布機

② 表面実装機

■ 製品群

①CPM H2
チップ部品実装
②CPM F2
異形部品実装
③CPM/FH
小型チップ部品実装
④HATTENライン
※加賀路遠量産中

③ 検査機

■ 製品群

①3D SPI
クリーム半田測定
②SMT後AOI機
実装部品外観検査
③半田槽前S-AOI
手差し部品検査
④半田槽後AOI
半田上がり検査
部品浮き検査

④ 垂直高温炉

■ 製品群

①Coating硬化炉
Coating後完全硬化
②Potting硬化炉
Potting後完全硬化
③高温老化試験炉
完成品高温老化試験

サステナビリティ中長期経営計画

（2021年11月25日公表資料より抜粋）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サステナビリティ方針

加賀電子グループは、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「持続的なグループの成長」の両立を目指します。
その取り組みにあたっては、「CSR基本方針」「環境方針」ならびに「行動規範」に基づき、お客様、取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上を目指します。

① 事業活動を通じて環境課題に取り組みます

事業活動を通じて、CO^2排出量の削減、廃棄物の削減と再利用の推進に取り組むとともに、環境に配慮した製品およびサービスを提供することで、地球環境を大切にする社会の実現に貢献します。

② 人権を尊重し、人財を育成します

性別や年齢、国籍や社会的身分、障がいの有無など個人の属性に関係なく、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。また、多様な従業員が心身ともに安全且つ健康に働ける職場環境や個々の能力を最大限発揮できる人事制度・教育研修体系を整備し、イノベーションに挑戦する人財づくりに取り組みます。

③ 社会との相互信頼の確立を目指します

法令や規則を遵守し、公正な競争、高品質な製品およびサービスの提供、適時適切な情報開示など、誠実な企業活動を実践するとともに、ガバナンス体制の強化を図ることで社会から信頼される企業を目指します。

マテリアリティ（重要課題）の特定

加賀電子グループは、世界および当社が直面するさまざまな課題や社会からの要請に真摯に向き合い、「E：環境」「S：社会」「G：ガバナンス」ならびに「B：事業」の4つの観点から、当社の経営にとってインパクトの大きい重要課題を以下の通り特定しました。これらのマテリアリティの取組みを通じて、持続可能な社会の実現に寄与する企業活動を実践し、さらなる企業価値の向上を推進していきます。

	マテリアリティ	関連するSDGs	経済・社会情勢の変化	取組み課題
E	**クリーンな地球環境を作る**	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を	● 地球温暖化・環境問題の深刻化 ● カーボンニュートラルへの要請	● 環境・エネルギー問題に貢献する製品およびサービスの提供 ● 環境負荷低減に向けた取り組みの継続
S	**働きやすい会社、豊かな社会を作る**	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう	● ニューノーマルに向けた社会構造の変化 ● 少子高齢化による人材の逼迫	● ニューノーマルに相応しいダイバーシティおよび働き方の促進 ● 加賀イズムの継承・発展による人財育成
G	**持続可能な経営基盤を作る**	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	● コーポレートガバナンス強化への要請 ● 環境変化に耐えうるレジリエンスの実現	● ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化 ● 利益重視経営の徹底
B	**持続的な事業成長を実現する**	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで目標を達成しよう	● デジタルトランスフォーメーションの進展 ● IoT・AIなどICTの普及による超スマート社会の到来 ● グローバル競争の激化	● デジタル化社会に貢献する製品およびサービスの提供 ● 社会課題解決に貢献する新規事業創出 ● グローバル展開のさらなる促進

サステナビリティ中長期目標と主なKPI

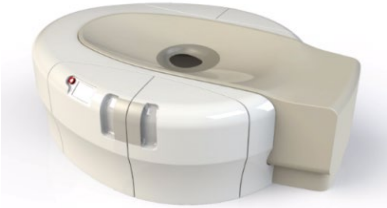
	主なテーマ	取組み課題・検討課題	中期目標	長期目標
E	再生可能エネルギー100%化の実現	● 国内営業拠点における再エネ導入	2024年:40% (1%)	2030年:100%
		● 国内製造拠点における再エネ導入	~2024年:情報収集・分析及び方針決定 ・自家発電/外部調達 ・太陽光パネル/バイオマス発電/再エネ事業者	2030年: 50% 2050年:100%
		● 海外製造拠点における再エネ導入		2030年: 30% 2050年:100%
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、FCV)への切り替え	2024年:85% (78.5%)	2030年:100%
S	ダイバーシティと人財マネジメント	● 中核人財の多様性確保（女性、外国人、中途採用） ● 高齢者・障がい者雇用の取り組み	<女性新卒総合職比率> 2023年:30% (5.8%) <女性管理職比率> 2024年:15% (13.3%)	<女性新卒総合職比率> 2028年:40% <女性管理職比率> 2029年:17%
	「ワークライフ・マネジメント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど各種制度拡充 ● 健康経営優良法人の認定取得	2022年:各種制度拡充 2023年:認定取得	2025年:外部認定取得 2024年~認定継続
G	CGコード改訂・東証再編に対応したガバナンス体制の再構築	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置	2021年6月実施済み	次期CGコード改訂に応じて目標設定
		● 取締役会の多様化	~2022年6月:方針決定	
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	2021年11月実施済み	
	経営の監督機能・執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入	2022年4月:施行	
		● 「委員会等設置会社」への移行	~2023年3月:方針決定	

※( )内は計画策定時数値：2021年11月

事業を通じたサステナビリティへの取り組み

医療機器　×　QOL

移動式CTスキャナー



乳がんCTスキャナー

3 すべての人に健康と福祉を

障がい者支援　×　ウェアラブル端末

オンテナ（Ontenna）

4 質の高い教育をみんなに

ケアサポートシステム

11 住み続けられるまちづくりを

高齢化社会　×　見守りシステム

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

アルファバス

環境・エネルギー　×　EVバス

加賀電子のCSR活動

JLPGA新人戦「加賀電子カップ」

本大会は、プロテストに合格した新人選手のみが出場する、トッププロになるための登竜門的な大会であり、当社は1996年以来、特別協賛を続けています。
歴代優勝者からは、不動裕理、横峯さくら、上田桃子などトッププロを輩出しています。

当社所属：山下美有夢プロ

山下美有夢プロは、昨シーズンツアー５勝、海外メジャー「AIG女子オープン（全英)」への出場など、大活躍中のプロゴルファーです。
また、史上最年少でJLPGA年間女王のタイトルを獲得し、今後も活躍が期待されています。

2023年3月期 決算概要

（2023年5月11日公表資料より抜粋）

2023年3月期決算　サマリー

2023年3月期の概況	● **売上高は、前期比1,122億円 (22.6%) 増収の6,080億円。** **電子部品事業では部品販売、EMSともに大きく伸長。**半導体・電子部品の供給不足や長納期化は概ね解消し、広範な産業向けに販売が高水準で推移。 ● **営業利益は、前期比113億円 (54.2%) 増益の322億円。** 売上増および販売ミックス良化に伴う売上総利益率向上により**大幅増益。** ● **売上高から当期純利益まで、**すべての項目で**過去最高を更新。**
2024年3月期業績予想	● **見通しの前提**：<経済情勢>緩やかな回復基調を見込むも、諸物価の高騰や金融システム不安など先行きは不透明。　<業界動向>半導体・電子部品の供給不足や長納期化は概ね解消も、**コロナ禍における需要増からの反動や顧客の在庫調整の影響を受け、一時的な需要減退**を見込む。 ● 国内外の経営環境・市況を慎重にみて、**電子部品事業は減収減益**の見通し。 **売上高は5,500億円 (9.5%減)、営業利益は250億円 (22.5%減)。**
株主還元	● 2023年3月期：**期末配当は、前回公表通り120円**（普通配当70円＋記念配当10円＋特別配当40円)を実施予定。中間配当と合わせた**年間配当は、前期実績から100円増配の1株当たり220円**（普通配当140円＋記念配当10円＋特別配当70円）。 ● 2024年3月期：一時的に減益を見込むも、**安定配当を重視して次期配当予想は前期実績を据え置く**(1株当たり220円：中間、期末とも110円)。

2023年3月期　業績ハイライト

（単位：百万円）

	2022/3期 実績		2023/3期 実績		前年比	2023/3期 前回予想 （2023年2月7日公表）		予想比
売上高	495,827		**608,064**		22.6%	585,000		3.9%
売上総利益	60,547	*12.2%*	**78,514**	*12.9%*	29.7%	–	–	–
販管費及び一般管理費	39,632	*8.0%*	**46,265**	*7.6%*	16.7%	–	–	–
営業利益	20,915	*4.2%*	**32,249**	*5.3%*	54.2%	29,500	*5.0%*	9.3%
経常利益	21,456	*4.3%*	**32,739**	*5.4%*	52.6%	30,000	*5.1%*	9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,401	*3.1%*	**23,070**	*3.8%*	49.8%	21,000	*3.6%*	9.9%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	576.46	–	**878.65**	–	–	799.78	–	–
ROE	15.7%	–	**19.6%**	–	3.9pt	18.0%	–	1.6%

(注)：1. 為替による影響額は、売上高が38,483百万円、営業利益が1,782百万円です。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

2023年3月期　セグメント別業績

（単位：百万円）

		2022/3期 実績		2023/3期 実績		前年比	2023/3期 前回予想（2023年2月7日公表）		予想比
電子部品	売上高	433,852		**539,342**		24.3%	523,000		3.1%
	セグメント利益	18,107	*4.2%*	**28,314**	*5.2%*	56.4%	25,800	*4.9%*	9.7%
情報機器	売上高	39,616		**43,680**		10.3%	39,000		12.0%
	セグメント利益	2,085	*5.3%*	**2,449**	*5.6%*	17.4%	2,000	*5.1%*	22.5%
ソフトウェア	売上高	2,767		**2,998**		8.3%	3,000		▲0.1%
	セグメント利益	▲ 26	*▲1.0%*	**286**	*9.6%*	－	200	*6.7%*	43.4%
その他	売上高	19,590		**22,044**		12.5%	20,000		10.2%
	セグメント利益	626	*3.2%*	**1,101**	*5.0%*	76.0%	1,500	*7.5%*	▲26.5%
合計	売上高	495,827		**608,064**		22.6%	585,000		3.9%
	セグメント利益	20,915	*4.2%*	**32,249**	*5.3%*	54.2%	29,500	*5.0%*	9.3%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

2023年3月期　会社別業績

（単位：百万円）

		2022/3期 実績		2023/3期 実績		前年比	2023/3期 前回予想（2023年2月7日公表）		予想比
加賀電子	売上高	281,075		**348,034**		23.8%	330,000		5.5%
	売上総利益	41,767	*14.9%*	**53,123**	*15.3%*	27.2%	51,000	*15.5%*	4.2%
	営業利益	15,461	*5.5%*	**21,899**	*6.3%*	41.6%	19,500	*5.9%*	12.3%
加賀FEI	売上高	149,455		**199,548**		33.5%	195,000		2.3%
	売上総利益	14,690	*9.8%*	**20,913**	*10.5%*	42.4%	20,500	*10.5%*	2.0%
	営業利益	3,654	*2.4%*	**8,103**	*4.1%*	121.8%	8,000	*4.1%*	1.3%
エクセル	売上高	65,296		**60,481**		▲7.4%	60,000		0.8%
	売上総利益	4,247	*6.5%*	**4,443**	*7.3%*	4.6%	4,500	*7.5%*	▲1.3%
	営業利益	1,937	*3.0%*	**2,072**	*3.4%*	7.0%	2,000	*3.3%*	3.6%
合計	売上高	495,827		**608,064**		22.6%	585,000		3.9%
	売上総利益	60,547	*12.2%*	**78,514**	*12.9%*	29.7%	76,000	*13.0%*	3.3%
	営業利益	20,915	*4.2%*	**32,249**	*5.3%*	54.2%	29,500	*5.0%*	9.3%

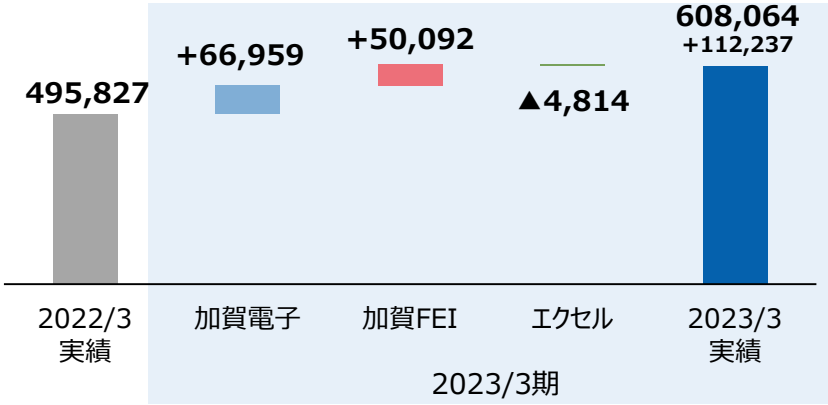
(注)：1. 売上総利益および営業利益については、３社間での連結調整前の数値を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

2023年3月期　M&Aの影響

（単位：百万円）

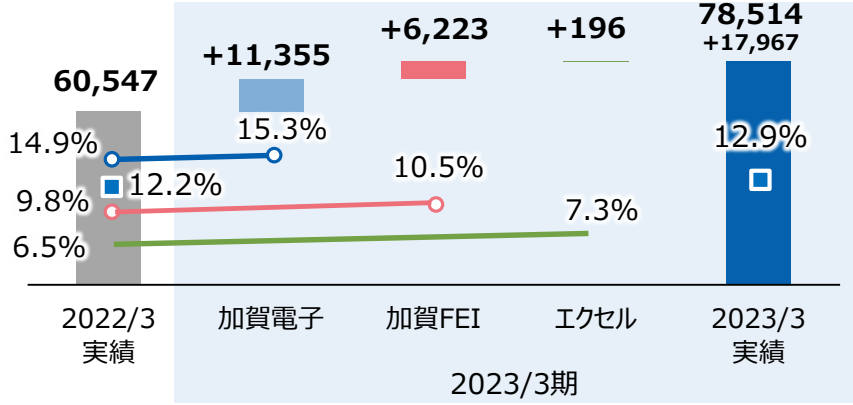
売上高

加賀電子、加賀FEIは電子部品事業がけん引し大幅増収



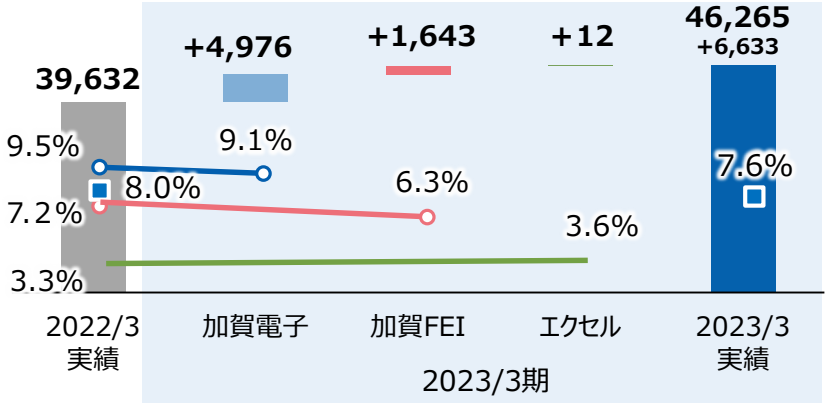
売上総利益 / 売上総利益率

売上総利益は利益額、利益率ともに向上



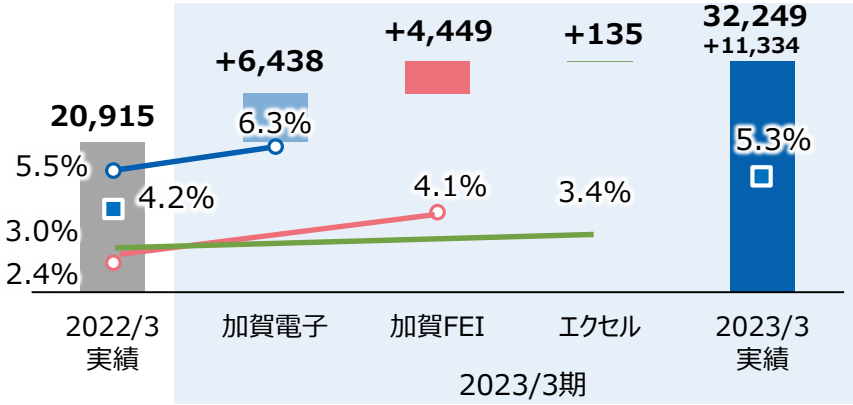
販管費 / 販管費率

売上増に伴い販管費増となるも、販管費率は低減



営業利益 / 営業利益率

売上総利益増が経費増を吸収し増益。利益率も向上。



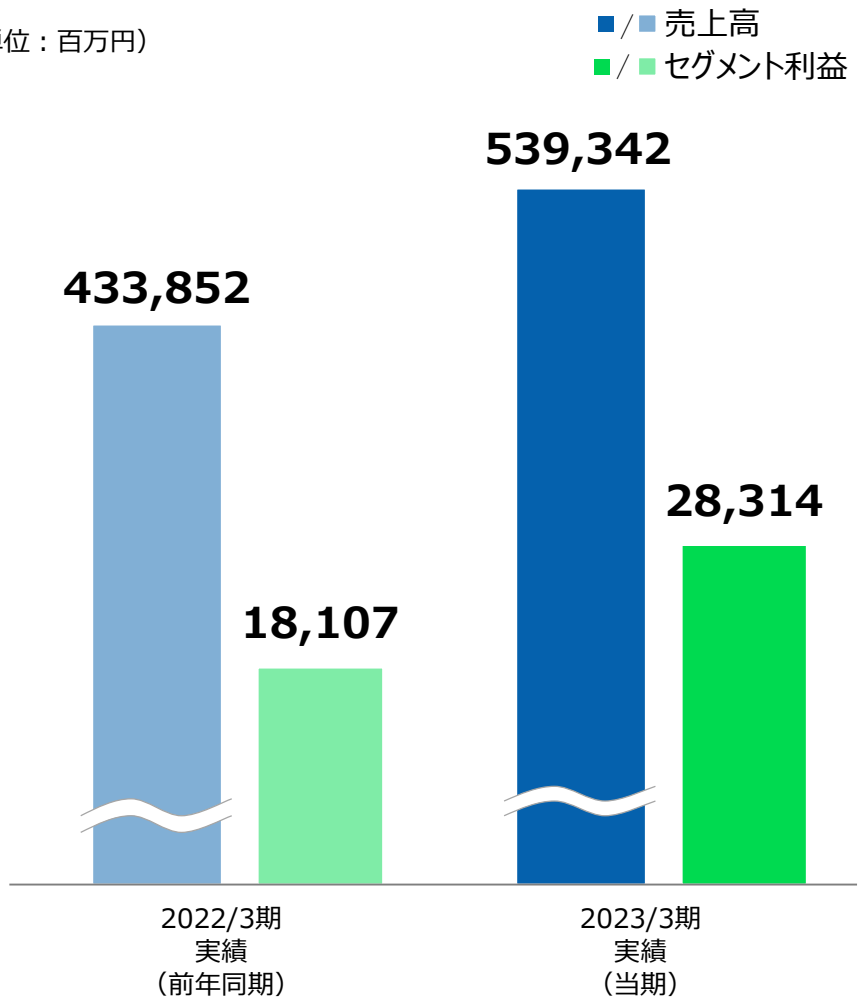
加賀電子

（注）：売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は33百万円、営業利益は173百万円です。

2023年3月期：電子部品事業

売上高・セグメント利益

（単位：百万円）



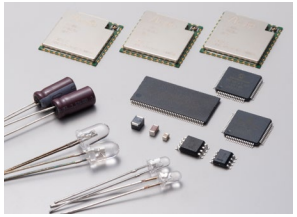
前年比

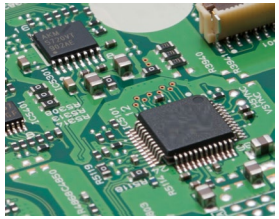
- 売上高 ▶ **+105,489**百万円 **24.3%増**
- セグメント利益 ▶ **+10,206**百万円 **56.4%増**

・部品販売ビジネスは、年度後半からの需給状況改善を背景に、広範な業界からの需要が高水準で推移、販売を大きく伸ばす。

・車載関連向けは供給不足が継続するも、独立系商社としての調達力の強みを活かし販売物量を確保。スポット販売と併行して、代替製品の提案にもグループ横断的に取り組む。

・EMSビジネスは、車載関連向けが大きく伸長。医療機器、事務機器向け等の販売も引き続き堅調に推移。



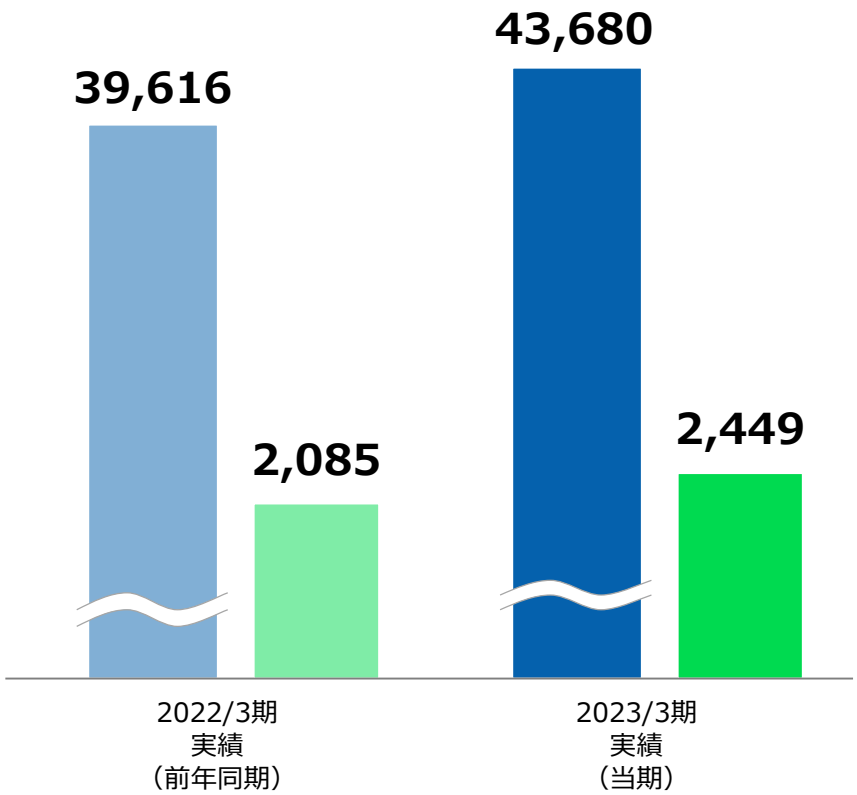


2023年3月期：情報機器事業

売上高・セグメント利益

（単位：百万円）

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ **+4,063**百万円 **10.3%増**
- セグメント利益 ▶ **+363**百万円 **17.4%増**

・法人向けや教育機関向けパソコン販売は、高価格帯製品を中心として堅調に推移。

・セキュリティソフトなど、PC周辺機器も引き続き堅調に推移。

・LED設置ビジネスは、資材不足で遅延していた全国規模の大型案件の施工が順調に進捗し、事業収益に大きく貢献。

2023年3月期　業績ハイライト（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

	2022/3期 4Q実績		2023/3期 3Q実績		2023/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
売上高	143,143		153,460		**155,843**		8.9%	1.6%
売上総利益	17,786	*12.4%*	19,882	*13.0%*	**18,630**	*12.0%*	4.7%	▲6.3%
販管費及び一般管理費	11,529	*8.1%*	12,237	*8.0%*	**12,387**	*7.9%*	7.4%	1.2%
営業利益	6,257	*4.4%*	7,645	*5.0%*	**6,242**	*4.0%*	▲0.2%	▲18.3%
経常利益	6,569	*4.6%*	7,685	*5.0%*	**6,121**	*3.9%*	▲6.8%	▲20.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,986	*3.5%*	5,640	*3.7%*	**4,017**	*2.6%*	▲19.4%	▲28.8%
EPS (1株当たり四半期純利益、円)	189.99	–	214.80	–	**152.99**	–	–	–

(注)：「 *×.×%* 」は利益率を表します。

2023年3月期　セグメント別業績（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

		2022/3期 4Q実績		2023/3期 3Q実績		2023/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	122,440		137,144		**133,733**		9.2%	▲2.5%
	セグメント利益	5,105	*4.2%*	6,724	*4.9%*	**4,972**	*3.7%*	▲2.6%	▲26.1%
情報機器	売上高	13,315		9,542		**14,540**		9.2%	52.4%
	セグメント利益	869	*6.5%*	534	*5.6%*	**949**	*6.5%*	9.2%	77.5%
ソフトウェア	売上高	926		768		**922**		▲0.5%	20.0%
	セグメント利益	83	*9.0%*	39	*5.2%*	**151**	*16.4%*	82.1%	281.1%
その他	売上高	6,460		6,004		**6,647**		2.9%	10.7%
	セグメント利益	152	*2.4%*	313	*5.2%*	**129**	*2.0%*	▲15.0%	▲58.6%
合計	売上高	143,143		153,460		**155,843**		8.9%	1.6%
	セグメント利益	6,257	*4.4%*	7,645	*5.0%*	**6,242**	*4.0%*	▲0.2%	▲18.3%

（注）：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

2023年3月期　会社別業績（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

		2022/3期 4Q実績		2023/3期 3Q実績		2023/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	82,054		86,074		**93,560**		14.0%	8.7%
	売上総利益	12,077	*14.7%*	13,486	*15.7%*	**12,901**	*13.8%*	6.8%	▲4.3%
	営業利益	4,360	*5.3%*	5,342	*6.2%*	**4,320**	*4.6%*	▲0.9%	▲19.1%
加賀FEI	売上高	43,338		54,535		**46,255**		6.7%	▲15.2%
	売上総利益	4,419	*10.2%*	5,310	*9.7%*	**4,300**	*9.3%*	▲2.7%	▲19.0%
	営業利益	1,235	*2.9%*	1,796	*3.3%*	**1,093**	*2.4%*	▲11.5%	▲39.2%
エクセル	売上高	17,750		12,851		**16,027**		▲9.7%	24.7%
	売上総利益	1,293	*7.3%*	1,124	*8.7%*	**1,328**	*8.3%*	2.7%	18.2%
	営業利益	662	*3.7%*	511	*4.0%*	**695**	*4.3%*	4.9%	35.9%
合計	売上高	143,143		153,460		**155,843**		8.9%	1.6%
	売上総利益	17,786	*12.4%*	19,882	*13.0%*	**18,630**	*12.0%*	4.7%	▲6.3%
	営業利益	6,257	*4.4%*	7,645	*5.0%*	**6,242**	*4.0%*	▲0.2%	▲18.3%

(注)：1. 売上総利益および営業利益については、３社間での連結調整前の数値を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

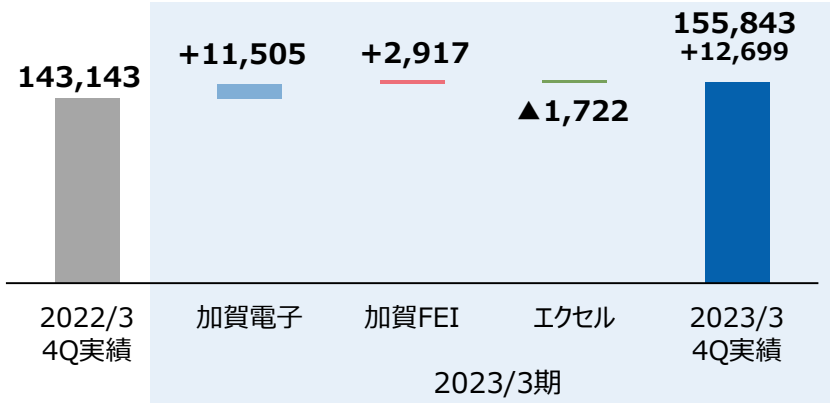
2023年3月期　M&Aの影響（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

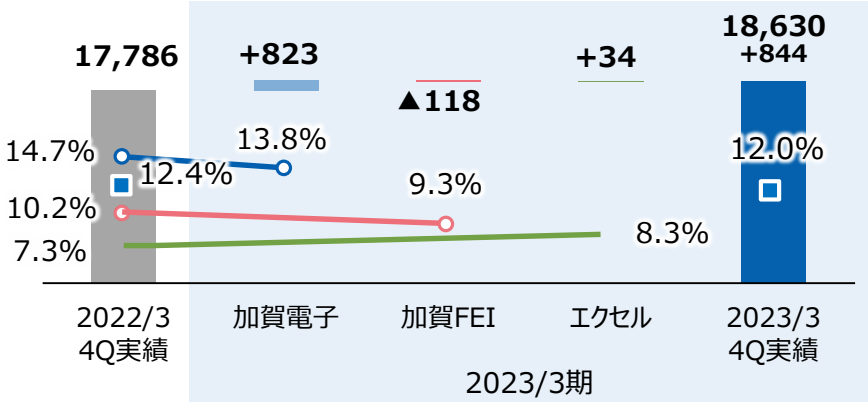
売上高

加賀電子、加賀FEIは電子部品事業がけん引し増収



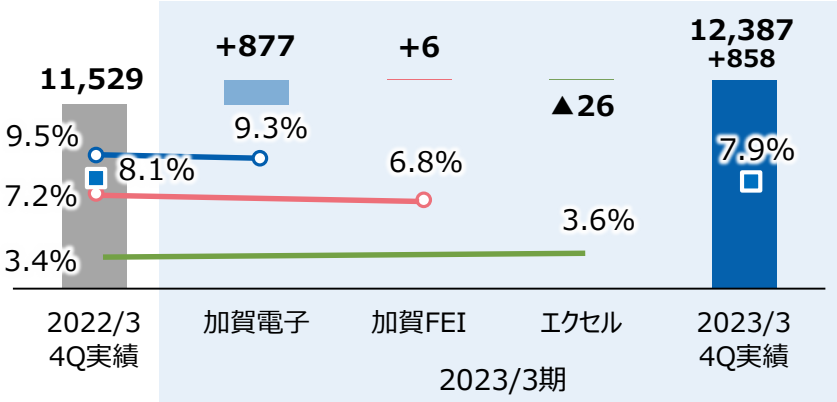
売上総利益 / 売上総利益率

エクセル以外は利益率低下し、増益ピッチもやや鈍化。



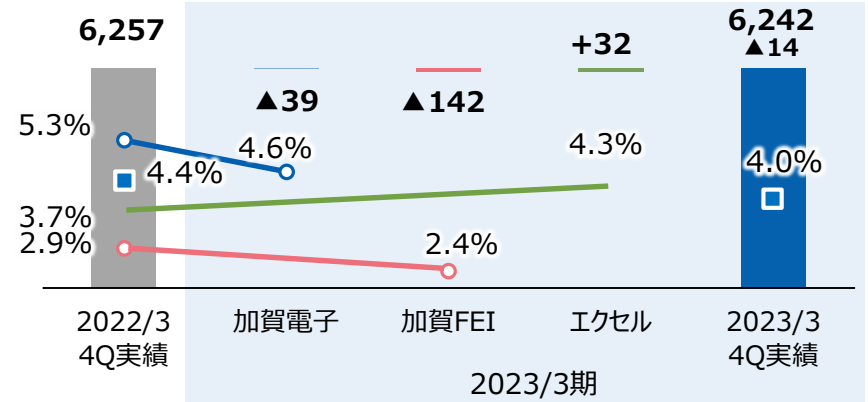
販管費 / 販管費率

売上増に伴う販売費増、期末賞与引当等により費用増



営業利益 / 営業利益率

3社とも概ね前年並みの利益額を確保



加賀電子

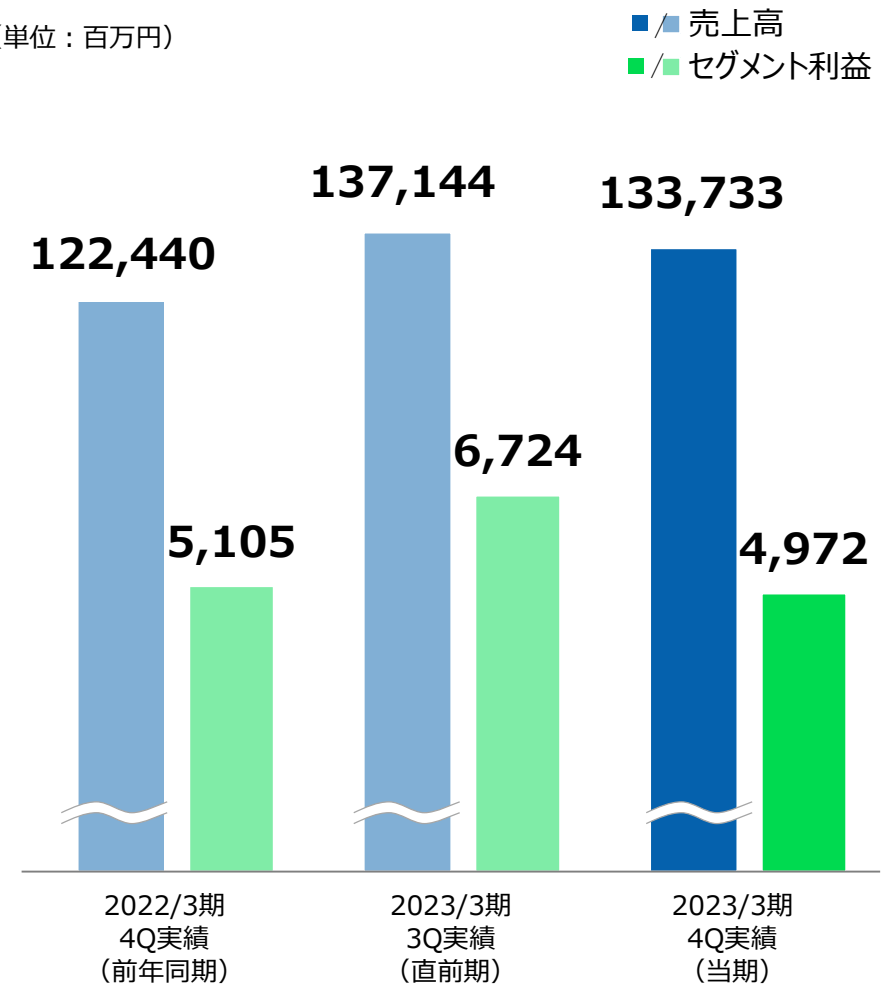
（注）：売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は99百万円、営業利益は133百万円です。

2023年3月期：電子部品事業（直近3カ月）

参考

売上高・セグメント利益

（単位：百万円）



前年同期比

- 売上高 ▶ **+11,292**百万円 **9.2%増**
- セグメント利益 ▶ **▲133**百万円 **2.6%減**

直前期比

- 売上高 ▶ **▲3,411**百万円 **2.5%減**
- セグメント利益 ▶ **▲1,751**百万円 **26.1%減**

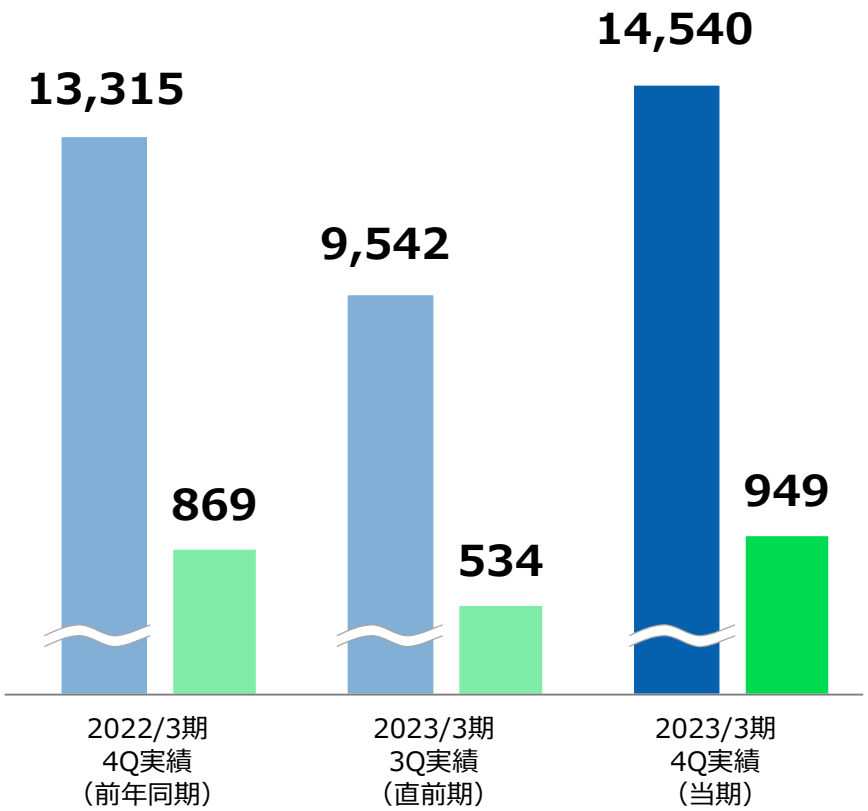
加賀電子

2023年3月期：情報機器事業（直近3カ月）

参考

売上高・セグメント利益

（単位：百万円）



前年同期比

- 売上高 ▶ **+1,224**百万円 **9.2%増**
- セグメント利益 ▶ **+80**百万円 **9.2%増**

直前期比

- 売上高 ▶ **+4,997**百万円 **52.4%増**
- セグメント利益 ▶ **+414**百万円 **77.5%増**

加賀電子

2023年3月期　中計セグメント別業績

参考

（単位：百万円）

		2022/3期 実績		2023/3期 実績		前年 同期比	2023/3期 前回予想 (2023年2月7日公表)		予想比
電子部品	売上高	325,830		**398,783**		22.4%	391,000		2.0%
	セグメント利益	11,094	*3.4%*	**19,475**	*4.9%*	75.5%	17,200	*4.4%*	13.2%
EMS	売上高	117,828		**149,862**		27.2%	140,000		7.0%
	セグメント利益	7,356	*6.2%*	**9,563**	*6.4%*	30.0%	9,500	*6.8%*	0.7%
CSI	売上高	39,616		**43,680**		10.3%	39,000		12.0%
	セグメント利益	2,085	*5.3%*	**2,449**	*5.6%*	17.4%	2,000	*5.1%*	22.5%
その他	売上高	12,552		**15,739**		25.4%	15,000		4.9%
	セグメント利益	255	*2.0%*	**663**	*4.2%*	159.4%	800	*5.3%*	▲17.1%
合計	売上高	495,827		**608,064**		22.6%	585,000		3.9%
	セグメント利益	20,915	*4.2%*	**32,249**	*5.3%*	54.2%	29,500	*5.0%*	9.3%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

2023年3月期　中計セグメント別業績（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

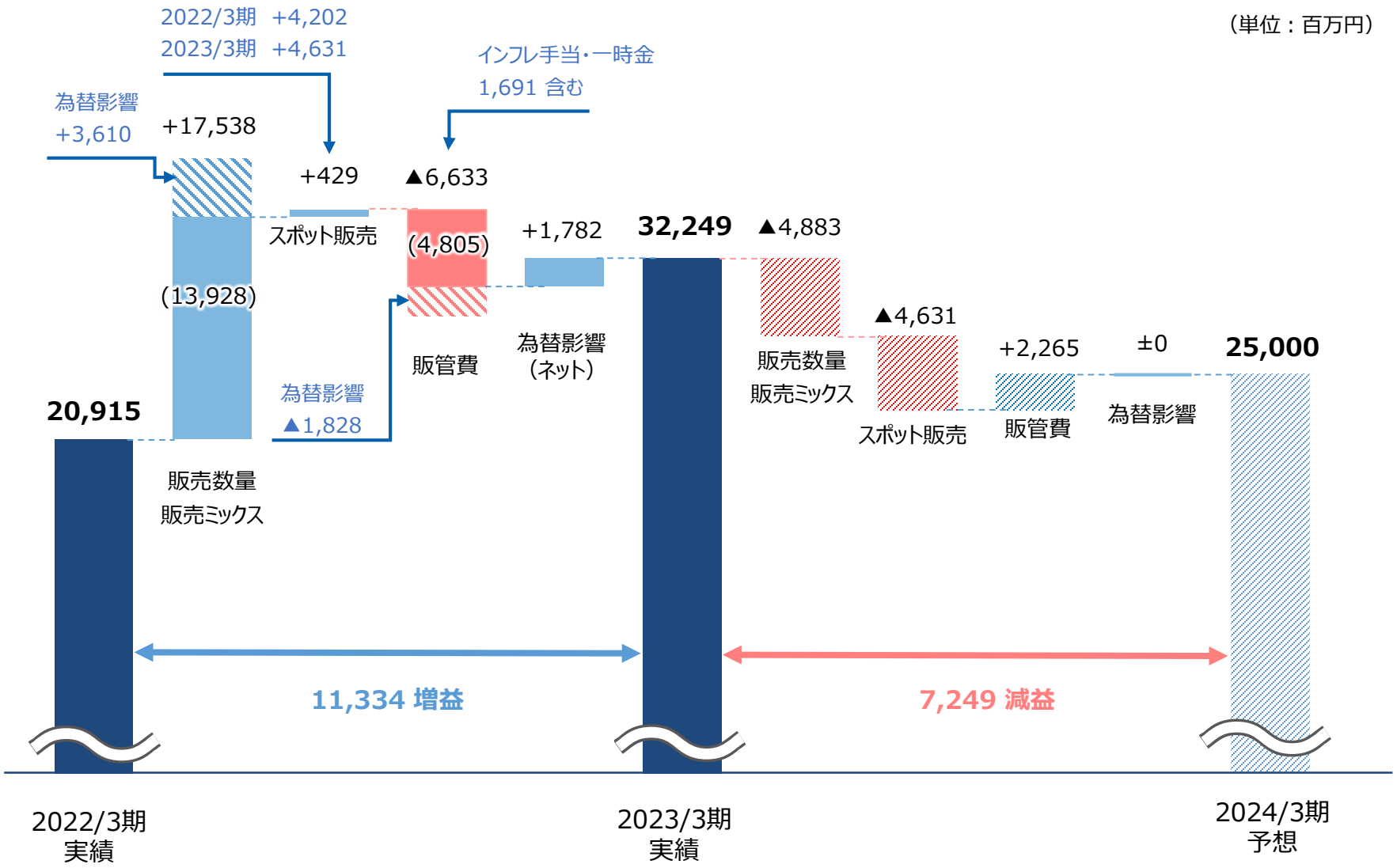
		2022/3期 4Q実績（前年同期）		2023/3期 3Q実績（直前期）		2023/3期 4Q実績（当期）		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	92,960		100,346		**95,569**		2.8%	▲4.8%
	セグメント利益	3,321	*3.6%*	4,211	*4.2%*	**3,573**	*3.7%*	7.6%	▲15.1%
EMS	売上高	33,232		39,123		**41,251**		24.1%	5.4%
	セグメント利益	1,893	*5.7%*	2,614	*6.7%*	**1,637**	*4.0%*	▲13.5%	▲37.4%
CSI	売上高	13,315		9,542		**14,540**		9.2%	52.4%
	セグメント利益	869	*6.5%*	534	*5.6%*	**949**	*6.5%*	9.2%	77.5%
その他	売上高	3,634		4,448		**4,480**		23.3%	0.7%
	セグメント利益	126	*3.5%*	251	*5.7%*	**42**	*1.0%*	▲66.3%	▲83.1%
合計	売上高	143,143		153,460		**155,843**		8.9%	1.6%
	セグメント利益	6,257	*4.4%*	7,645	*5.0%*	**6,242**	*4.0%*	▲0.2%	▲18.3%

（注）：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2.「 *×.×%* 」は利益率を表します。

加賀電子

2023年3月期/2024年3月期　営業利益変動要因

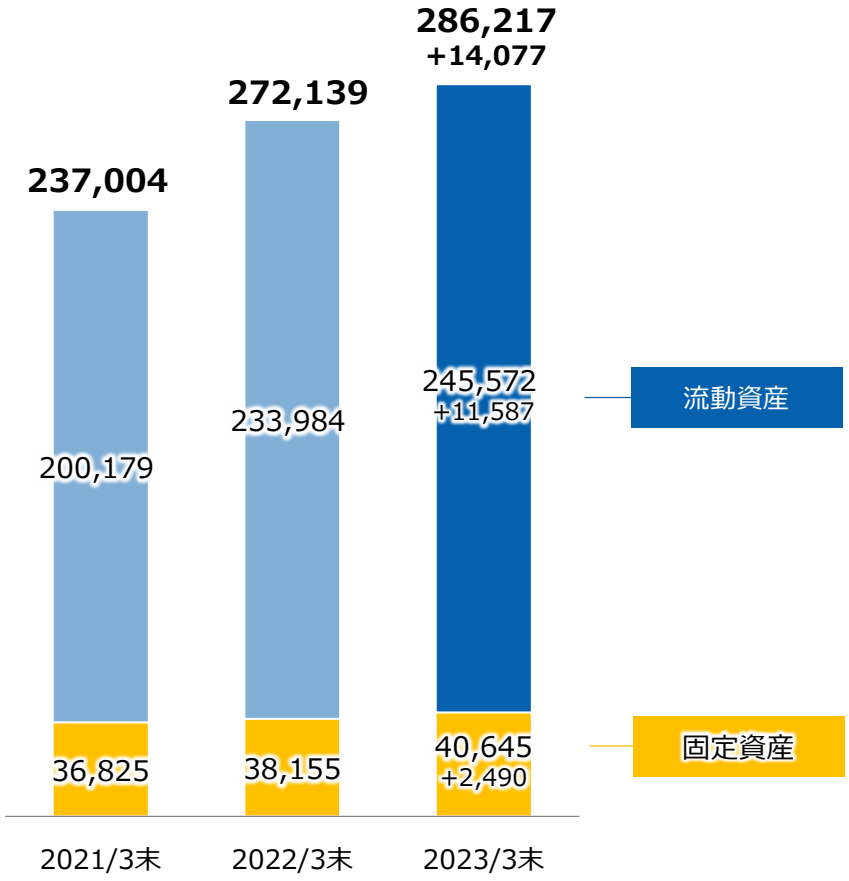
（単位：百万円）



貸借対照表主要項目

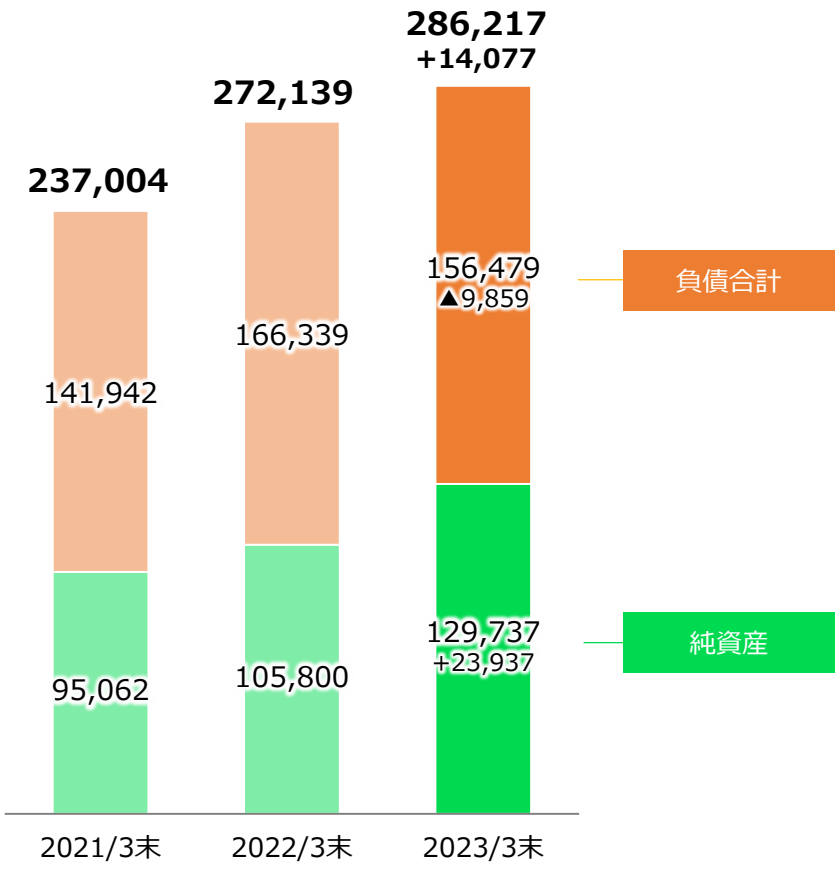
総資産

（単位：百万円）



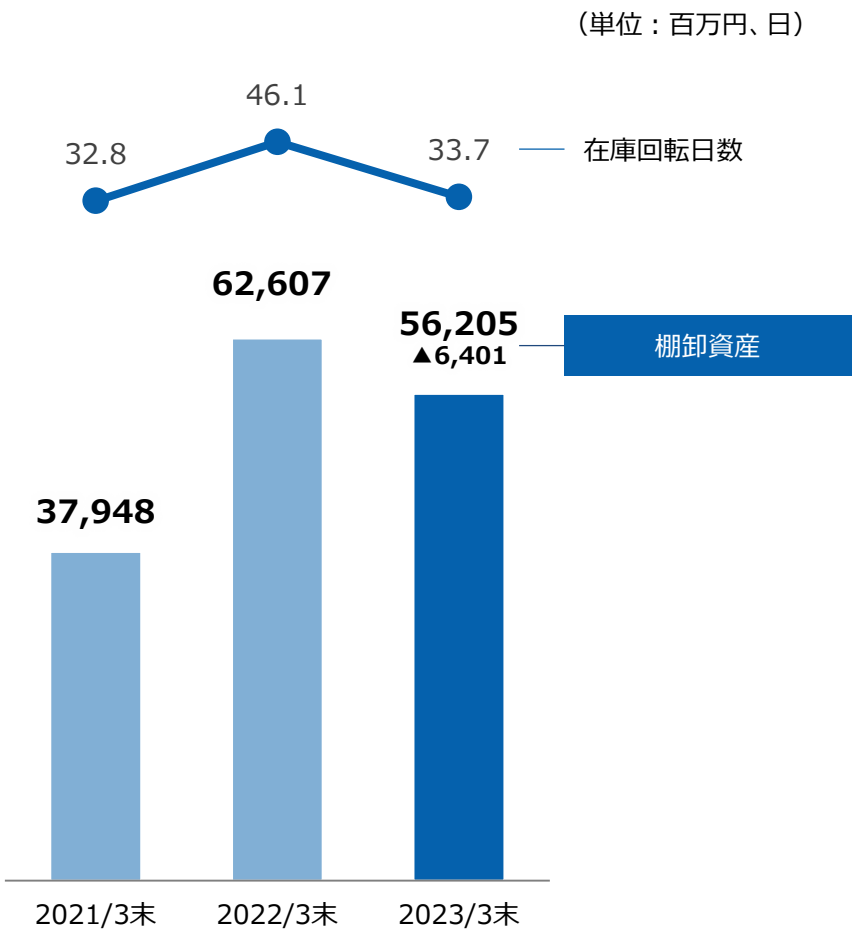
負債・純資産

（単位：百万円）



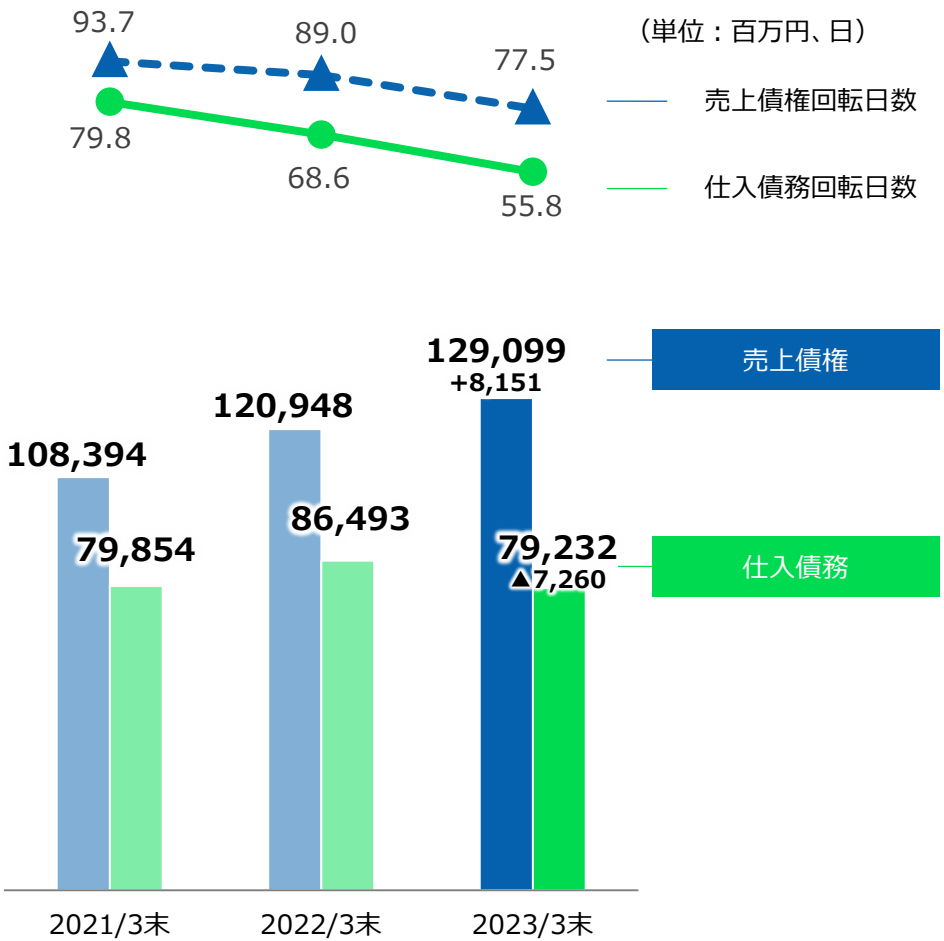
貸借対照表主要項目

棚卸資産



(注): 在庫回転日数 ＝ 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365（日）

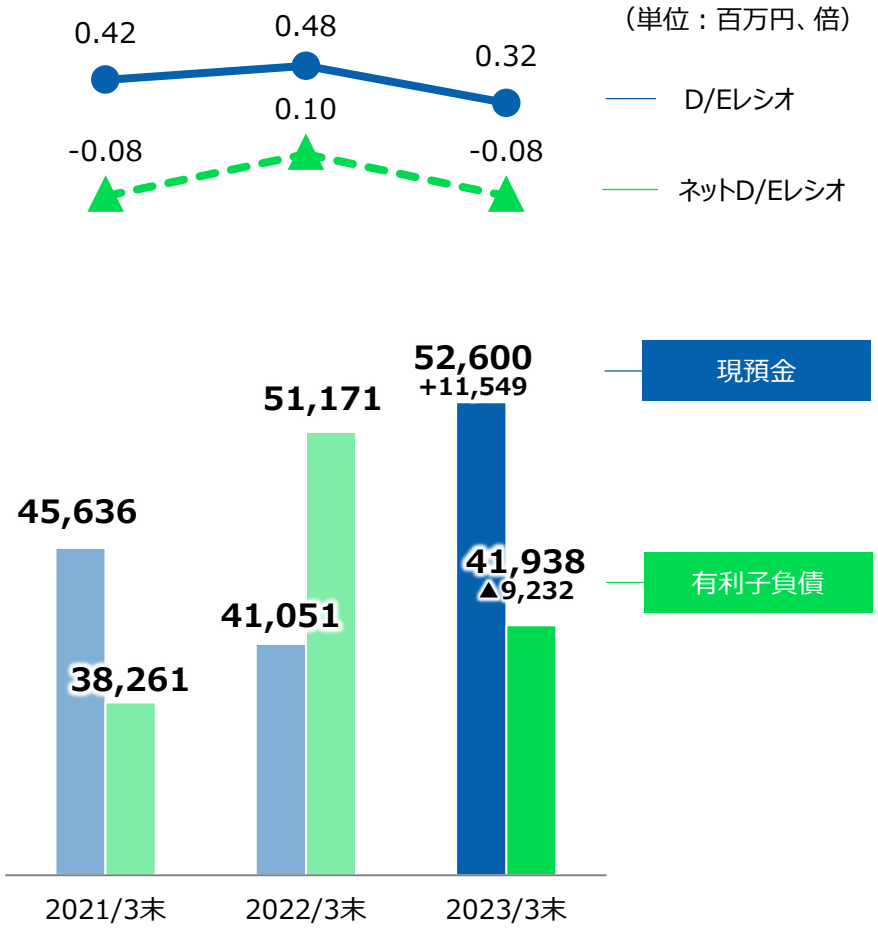
売上債権・仕入債務



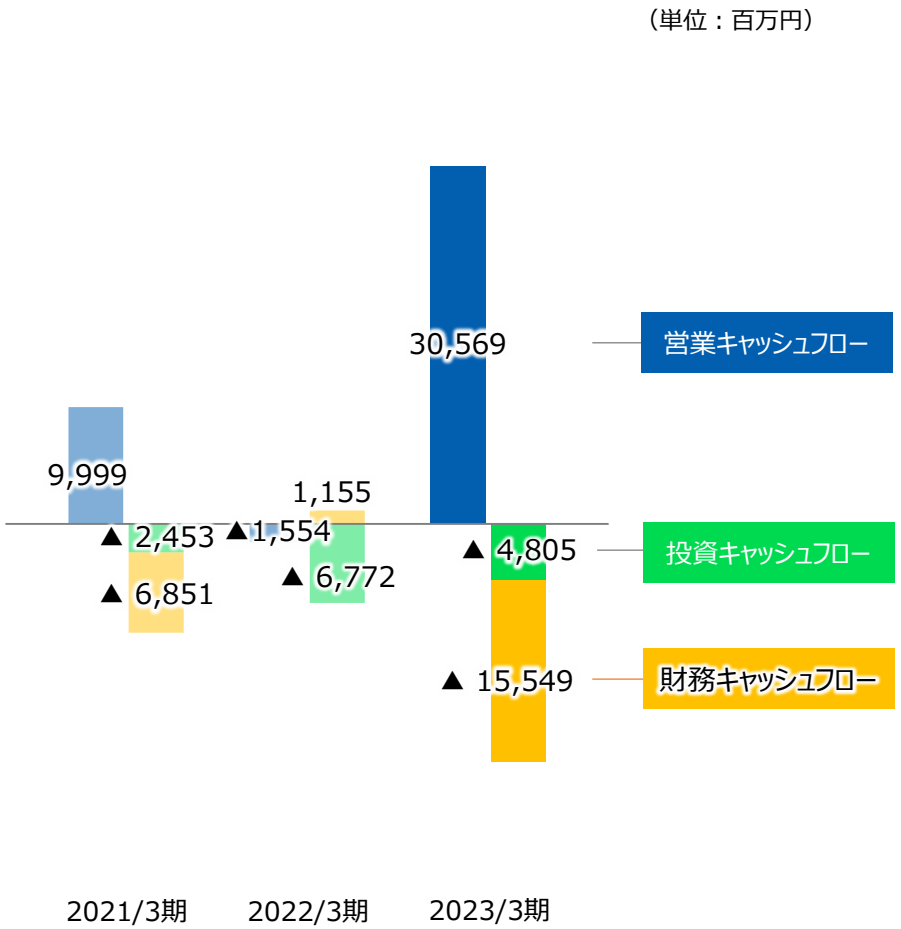
(注): 1. 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。
2. 支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。
3. 売上債権回転日数 ＝ 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365（日）
4. 仕入債務回転日数 ＝ 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365（日）

貸借対照表主要項目/キャッシュフロー

現預金・有利子負債



キャッシュフロー



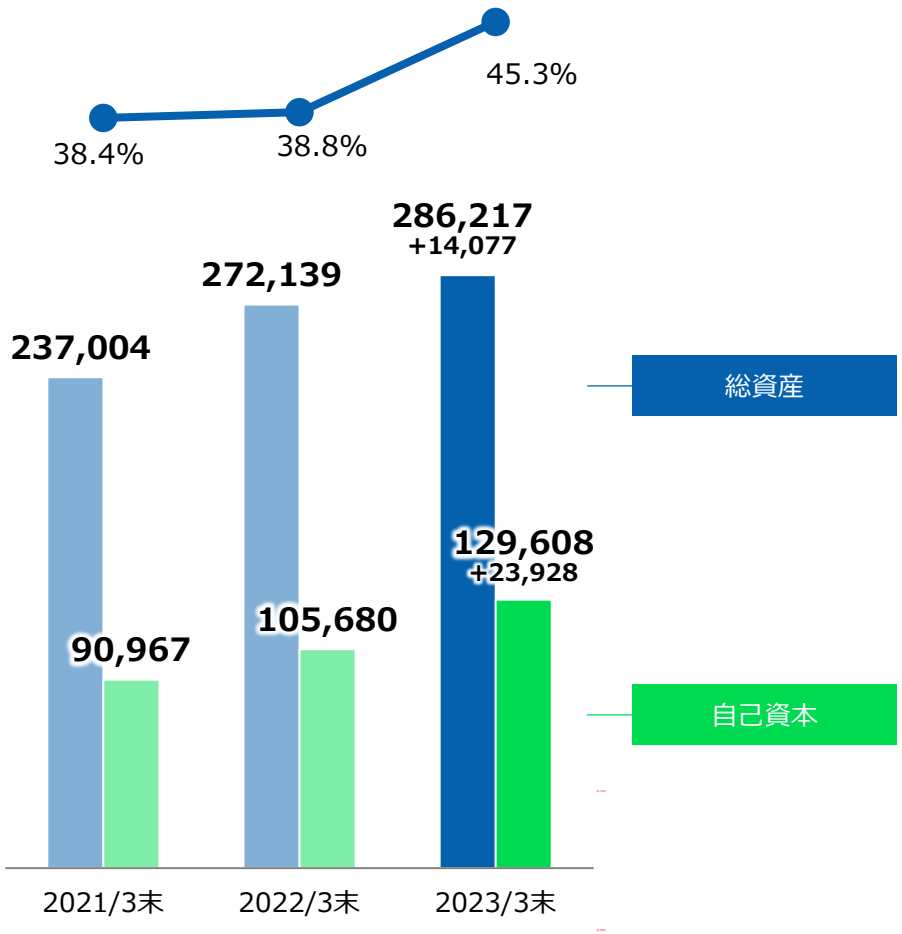
(注): 1. D/Eレシオ　＝　有利子負債　÷　自己資本
2. ネットD/Eレシオ　＝（有利子負債 － 現預金）　÷　自己資本

加賀電子

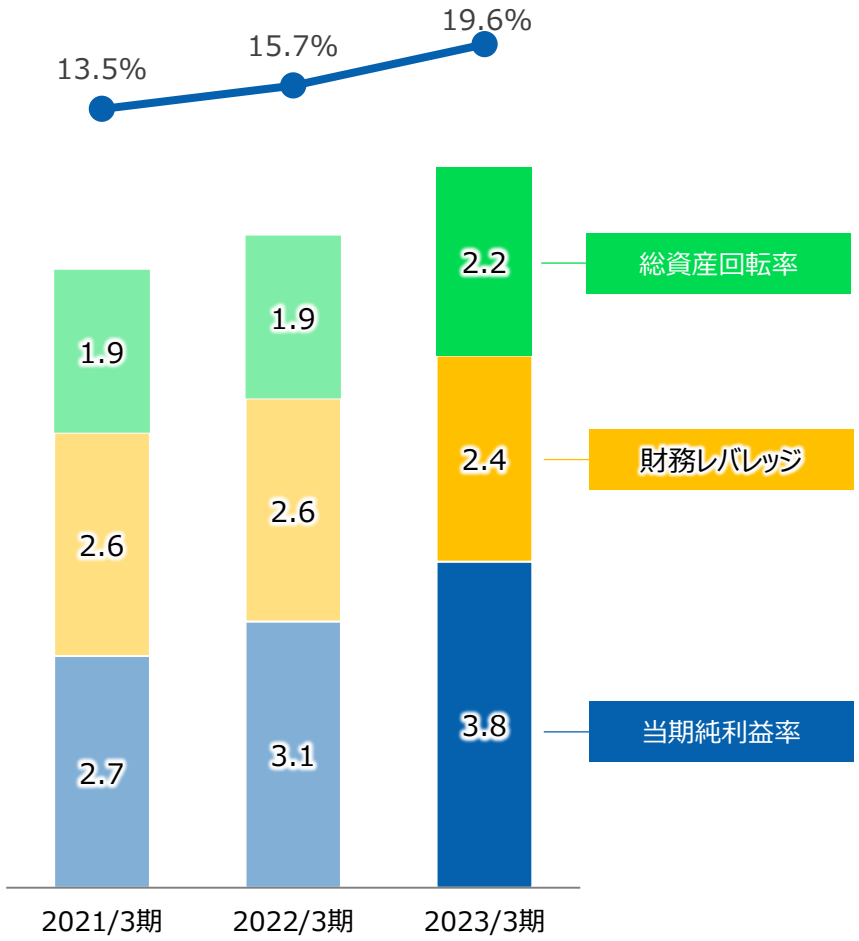
経営指標：安定性･効率性

（単位：百万円）

自己資本比率



ROE（自己資本利益率）



2024年3月期業績予想

2024年3月期　通期業績予想

（単位：百万円）

	2023/3期 実績		2024/3期 予想		前年比
売上高	608,064		**550,000**		▲9.5%
営業利益	32,249	*5.3%*	**25,000**	*4.5%*	▲22.5%
経常利益	32,739	*5.4%*	**25,000**	*4.5%*	▲23.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,070	*3.8%*	**18,000**	*3.3%*	▲22.0%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	878.65	–	**685.42**		–
ROE	19.6%	–	**13.3%**		▲6.3pt

(注)：「 ×.×% 」は利益率を表します。

2024年3月　セグメント別業績予想

（単位：百万円）

		2023/3期 実績		2024/3期 予想		前年比
電子部品	売上高	539,342		**471,500**		▲12.6%
	セグメント利益	28,314	*5.2%*	**20,700**	*4.4%*	▲26.9%
情報機器	売上高	43,680		**45,000**		3.0%
	セグメント利益	2,449	*5.6%*	**2,500**	*5.6%*	2.1%
ソフトウェア	売上高	2,998		**4,500**		50.1%
	セグメント利益	286	*9.6%*	**300**	*6.7%*	4.6%
その他	売上高	22,044		**29,000**		31.6%
	セグメント利益	1,101	*5.0%*	**1,500**	*5.2%*	36.1%
合計	売上高	608,064		**550,000**		▲9.5%
	セグメント利益	32,249	*5.3%*	**25,000**	*4.5%*	▲22.5%

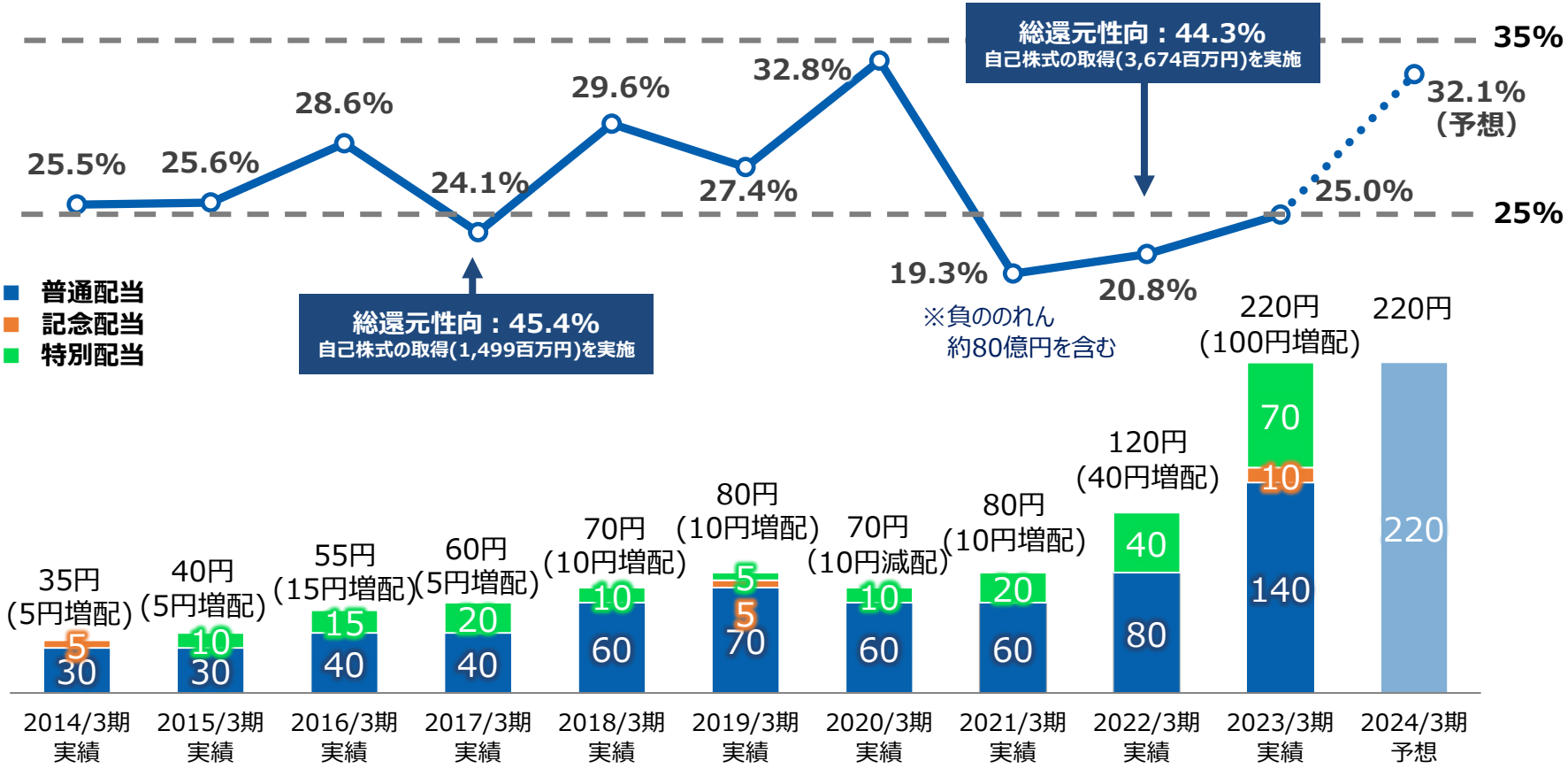
(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2.「 ×.×% 」は利益率を表します。

加賀電子

株主還元

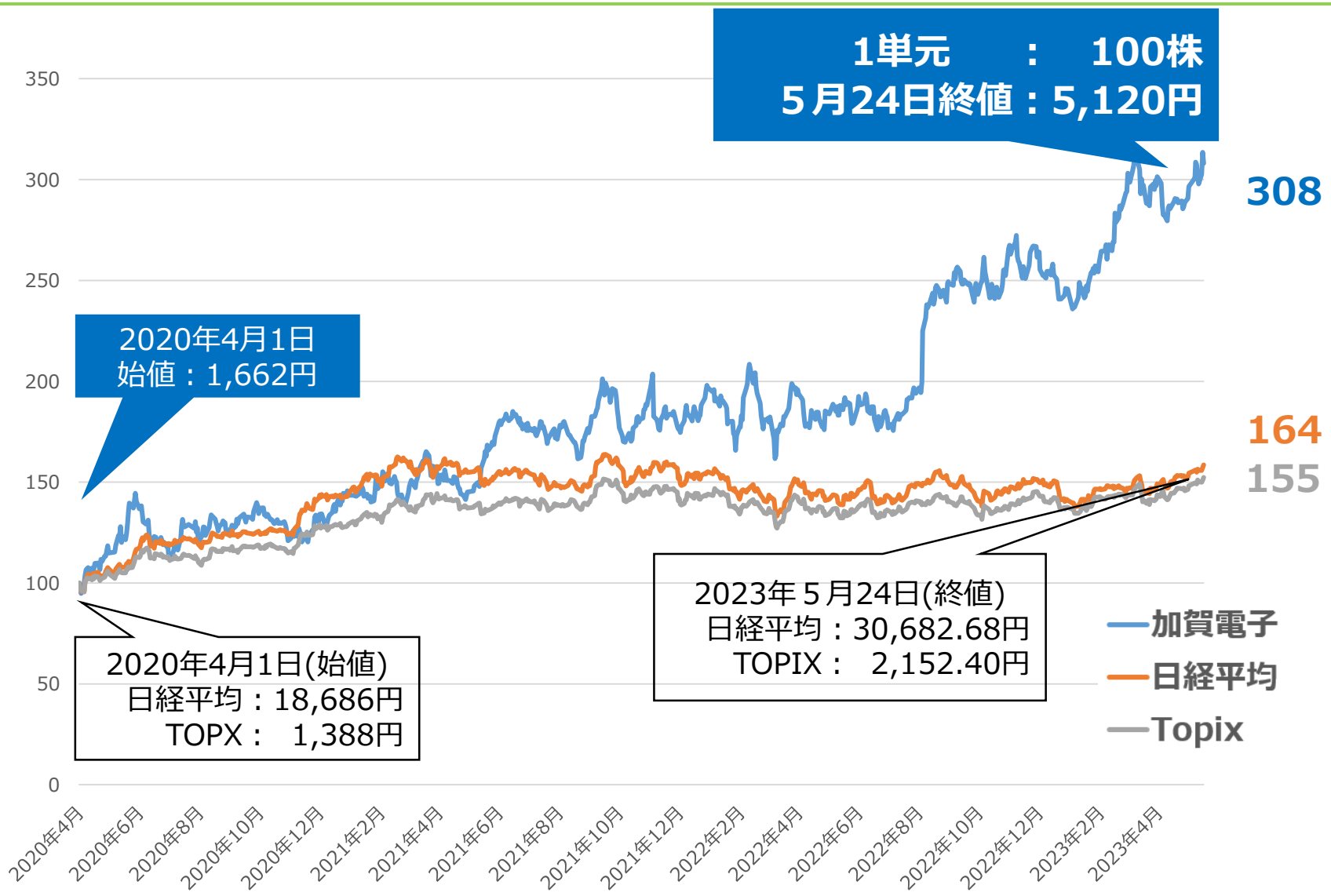
株主還元に関する考え方

- **業績連動型の「普通配当＋特別配当」**の二本建てを基本とする。
- **連結配当性向25～35%**を目安に置き、安定的に配当を継続する。
- **自己株式の取得**は、資本効率・株価等を勘案し、**機動的に実施**する。

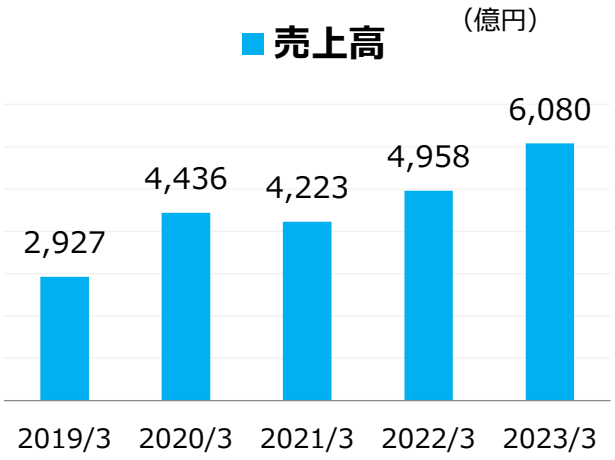


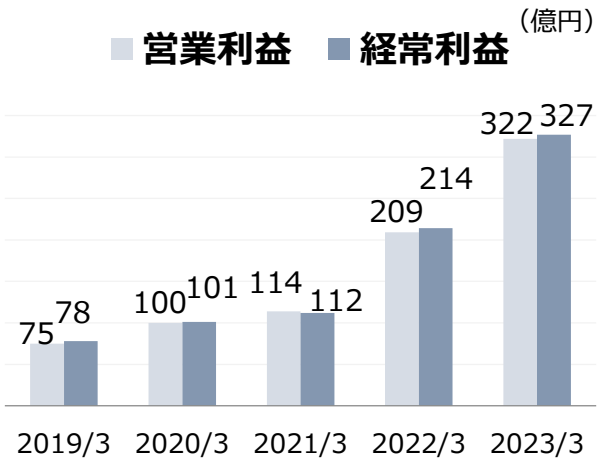
最後に

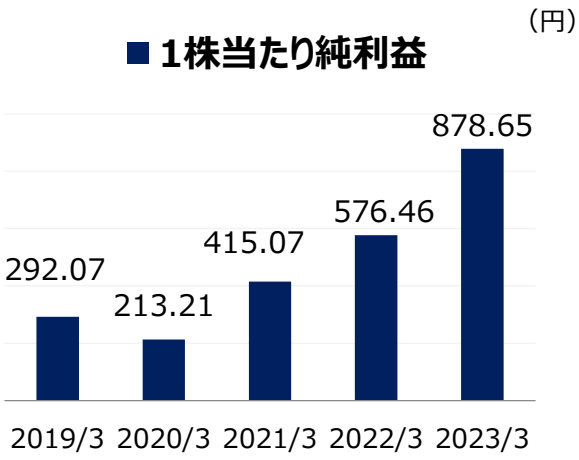
株価推移（2020年4月1日~2023年5月24日）

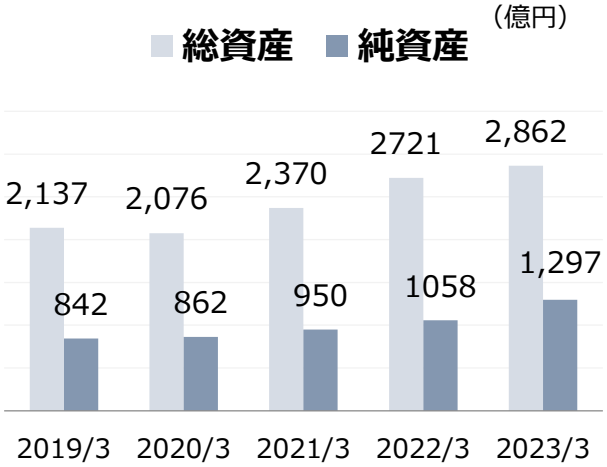


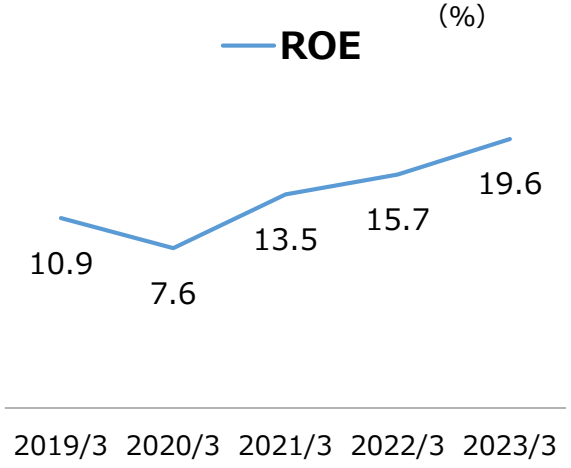
業績ハイライト：過去5年

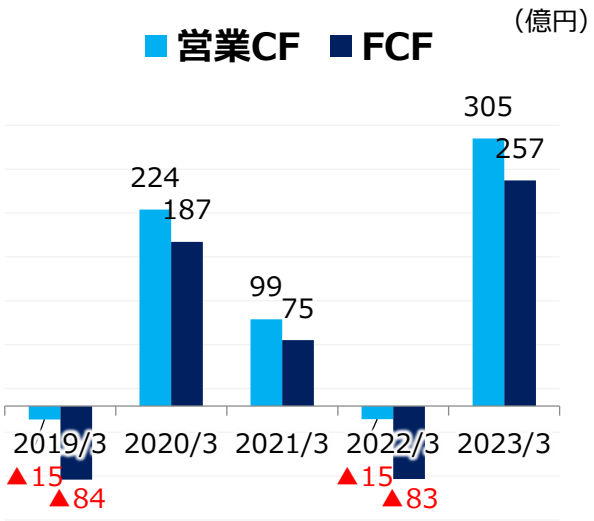












その他IR情報のご案内

●IRサイト

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/

●統合レポート2022

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/ir_library/library_09.html

●「IRメール配信サービス」へのご登録

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html

『すべてはお客様のために』

加賀電子株式会社

問合せ先：IR･広報部
〒101-8629　東京都千代田区神田松永町20番地
TEL:03-5657-0106
FAX:03-3254-7133
E-mail：webmaster@taxan.co.jp
https://www.taxan.co.jp

■　将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■　本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て　　比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入